平成22年度

動物実験に関する自己点検・評価報告書

埼玉大学

平成23年12月

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

1) 評価結果
☒ 基本指針に適合する機関内規程が定められている。 ☐ 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 機関内規程が定められていない。
2) 自己点検の対象とした資料 「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」、
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 平成 19 年度までは、「埼玉大学動物実験指針」によって、埼玉大学における動物実験を運用していたが、文部科学省の基本指針（平成 18 年文部科学省告示 71 号）と、日本学術会議の策定したガイドラインに基づき、「埼玉大学動物実験規則」を制定した。この規則を平成 20 年 9 月より施行しており、現段階では指針とガイドラインに従っているので問題はないと判断する。
4) 改善の方針

2. 動物実験委員会

1) 評価結果
☒ 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。 ☐ 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 動物実験委員会は置かれていない。
2) 自己点検の対象とした資料 「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 動物実験委員会が置かれているので、問題はないと判断する。
5) 改善の方針

3. 動物実験の実施体制

（動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告の実施体制が定められているか？）

1) 評価結果
☒ 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。 ☐ 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 動物実験の実施体制が定められていない。
2) 自己点検の対象とした資料 「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」、「動物実験計画書」、「動物実験実施状況・結果報告書」、「飼養保管施設設置承認申請書」、「実験室設置承認申請書」、「飼養保管状況報告書」

<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 規則に、動物実験の実施体制等が定められているので問題はないと判断する。</p>
<p>4) 改善の方針</p>

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

（遺伝子組換え動物実験、感染動物実験等の実施体制が定められているか？）

<p>1) 評価結果</p> <p>☒ 該当する動物実験の実施体制が定められている。</p> <p>☐ 該当する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。</p> <p>☐ 該当する動物実験の実施体制が定められていない。</p> <p>☐ 該当する動物実験は、行われていない。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料 「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」、「国立大学法人埼玉大学遺伝子組換え実験実施規則」</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 遺伝子組換えを伴う動物実験では動物実験計画書の承認に先だって、遺伝子組換え実験安全委員会の承認を必要としている。</p>
<p>4) 改善の方針</p>

5. 実験動物の飼養保管の体制

（機関内における実験動物の飼養保管施設が把握され、各施設に実験動物管理者が置かれているか？）

<p>1) 評価結果</p> <p>☐ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。</p> <p>☒ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p>☐ 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料 「飼養保管施設設置承認申請書」、「実験室設置承認申請書」</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 動物実験委員会において設置承認のため用いてきた判断基準が明文化されていない。</p>
<p>4) 改善の方針 設置承認の審査に用いてきた判断基準を明文化する。</p>

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

<p>特に無し</p>

II. 実施状況

1. 動物実験委員会

(動物実験委員会は、機関内規程に定めた機能を果たしているか?)

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、適正に機能している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 (1) 動物実験委員会の開催日時及び審議内容の記録 (2) 「動物実験計画書」、「動物実験変更・追加承認申請書」、「動物実験終了・中止報告書」、「実験実施状況・結果報告書」、「飼養保管施設設置承認申請書」、「実験室設置承認申請書」、「飼養保管状況報告書」の調査・審議内容の記録 (3) 動物実験教育訓練開催報告書
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。) 計画書の審査及び実験の把握、飼養保管施設の審査と登録後の把握など規則に従って行なっている。
4) 改善の方針

2. 動物実験の実施状況

(動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告が実施されているか?)

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 (1) 「動物実験計画書」、「動物実験変更・追加承認申請書」、「動物実験終了・中止報告書」 (2) 「動物実験計画書」に対する動物実験委員会での審査内容の記録 (3) 動物実験より得られた成績 (論文) の報告書
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。) 「動物実験変更・追加承認申請書」や「実験実施状況・結果報告書」の提出が滞っているケースが見受けられた。
4) 改善方針 提出期限の厳守を求める。

3. 安全管理を要する動物実験の実施状況

(当該実験が安全に実施されているか?)

1) 評価結果 ☒ 該当する動物実験が適正に実施されている。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。 ☐ 該当する動物実験は、行われていない。
2) 自己点検の対象とした資料 (安全管理上の事故等があれば、事故記録を対象とする) 「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」、「国立大学法人埼玉大学遺伝子組換え実験実施規則」、「動物実験計画書」、「飼養保管施設設置承認申請書」、「実験室設置承認申請書」
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。) 問題となるケースは見受けられなかった。
4) 改善の方針

4. 実験動物の飼養保管状況

(実験動物管理者の活動は適切か? 飼養保管は飼養保管手順書等により適正に実施されているか?)

1) 評価結果 ☒ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」、「動物実験計画書」、「動物飼育室の利用マニュアル」
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。) 飼養保管状況に問題は見受けられなかった。
4) 改善の方針

5. 施設等の維持管理の状況

(機関内の飼養保管施設は適正な維持管理が実施されているか? 修理等の必要な施設や設備に、改善計画は立てられているか?)

1) 評価結果 ☐ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に維持管理されている。 ☒ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 「動物飼育室の利用マニュアル」

3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。)

概ね良好であるが、臭気の漏れに関する苦情が寄せられた。

平成22年度に一般飼育室の2つの空調の更新を行なったが、他の飼育室等の空調に関しても更新計画を立案する必要がある。またSPF室のエアーシャワー、オートクレーブも設置から10年以上経過しているので、オーバーホールもしくは更新の計画を立てる必要がある。

4) 改善の方針

動物実験委員会より、飼育室の設備の更新計画を作成するよう、飼育室を管理する科学分析支援センターに呼びかける。臭気の改善については、飼養者、施設課とともに問題解決に努める。

6. 教育訓練の実施状況

(実験動物管理者、動物実験実施者、飼養者等に対する教育訓練を実施しているか?)

1) 評価結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

「動物実験教育訓練開催報告書」

3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点があれば、明記する。)

教育訓練を受けた者は、1年間動物実験を行なうことができる。

4) 改善の方針

7. 自己点検・評価・情報公開

(基本指針への適合性に関する自己点検・評価、関連事項の情報公開を実施しているか?)

1) 評価結果

- 基本指針に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

(1)自己点検・評価・・・今回の自己点検・評価結果は情報公開予定

(2)関連事項の情報公開・・・「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」、「各種様式」、「平成21年度実績」、「平成22年度実績」については、埼玉大学のホームページにおいて情報公開済み

3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。)

平成23年度から、ホームページ上で自己点検・評価、及びその情報を公開し始めたが、その内容等については、更に検討の余地がある。

4) 改善の方針

内容等について検討を行う。

8. その他

(動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果)

世界動物保健機構 (OIE) によれば、専門性を備えている獣医師 (最低 1 名) を動物実験委員会に参画すべきとしている (2010 年)。本学の動物実験委員会へ獣医師が加わることを検討する必要がある。

平成23年度
動物実験に関する自己点検・評価報告書

埼玉大学 動物実験委員会

平成24年12月

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

1) 評価結果
☒ 基本指針に適合する機関内規程が定められている。 ☐ 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 機関内規程が定められていない。
2) 自己点検の対象とした資料 「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 平成 19 年度までは、「埼玉大学動物実験指針」によって、埼玉大学における動物実験を運用していた。その後、文部科学省の基本指針（平成 18 年文部科学省告示 71 号）と、日本学術会議の策定したガイドラインに基づき、「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」を制定した（平成 19 年 8 月）。指針とガイドラインに沿った本規則を平成 20 年 9 月より施行しているので、問題ないと判断する。
4) 改善の方針 特になし。

2. 動物実験委員会

1) 評価結果
☒ 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。 ☐ 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 動物実験委員会は置かれていない。
2) 自己点検の対象とした資料 「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」、「埼玉大学動物実験委員会名簿」
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」に即して動物実験委員会が置かれていることから問題ないと判断する。
4) 改善の方針 特になし。

3. 動物実験の実施体制

（動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告の実施体制が定められているか？）

1) 評価結果
☒ 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。 ☐ 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 動物実験の実施体制が定められていない。
2) 自己点検の対象とした資料 「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」、「動物実験計画書」、「動物実験実施状況・結果報告書」、「飼養保管施設設置承認申請書」、「実験室設置承認申請書」、「飼養保管状況報告書」

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」に動物実験の実施体制等が定められていることから問題ないと判断する。
4) 改善の方針 特になし。

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

（遺伝子組換え動物実験、感染動物実験等の実施体制が定められているか？）

1) 評価結果 ☒ 該当する動物実験の実施体制が定められている。 ☐ 該当する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 該当する動物実験の実施体制が定められていない。 ☐ 該当する動物実験は、行われていない。
2) 自己点検の対象とした資料 「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」、「国立大学法人埼玉大学遺伝子組換え実験実施規則」
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 遺伝子組換えを伴う動物実験では、動物実験計画書の承認に先立ち、遺伝子組換え実験安全委員会の承認を必要としている。
4) 改善の方針 特になし。

5. 実験動物の飼養保管の体制

（機関内における実験動物の飼養保管施設が把握され、各施設に実験動物管理者が置かれているか？）

1) 評価結果 ☒ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 「飼養保管施設設置承認申請書」、「実験室設置承認申請書」
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 動物実験委員会では、「飼養保管施設設置承認申請書」によって申請された飼養保管施設について審査を行ない承認する体制をとっている。また、各施設の申請書内には実験動物管理者を記載することになっている。
4) 改善の方針 飼養保管施設や実験室の設置に関する判断基準等については、現在、明文化について検討中である。

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

特になし。

II. 実施状況

1. 動物実験委員会

(動物実験委員会は、機関内規程に定めた機能を果たしているか?)

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、適正に機能している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 (1) 動物実験委員会の開催日時及び審議内容の記録 (2) 「動物実験計画書」、「動物実験変更・追加承認申請書」、「動物実験終了・中止報告書」、「実験実施状況・結果報告書」、「飼養保管施設設置承認申請書」、「実験室設置承認申請書」、「飼養保管状況報告書」の調査・審議内容の記録 (3) 動物実験教育訓練開催報告書
3) 評価結果の判断理由(改善すべき点や問題があれば、明記する。) 上記の審議等は「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」に即して行い、また、これらの記録については、適切に保管されている。
4) 改善の方針 特になし。

2. 動物実験の実施状況

(動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告が実施されているか?)

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 (1) 「動物実験計画書」、「動物実験変更・追加承認申請書」、「動物実験終了・中止報告書」 (2) 「動物実験計画書」に対する動物実験委員会での審査内容の記録 (3) 動物実験より得られた成績(論文)の報告書
3) 評価結果の判断理由(改善すべき点や問題があれば、明記する。) 「実験計画書」の審査・承認、「動物実験変更・追加承認申請書」や「実験実施状況・結果報告書」の提出については、「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」に即して行われているので問題なしと判断する。 なお、「動物実験変更・追加承認申請書」や「実験実施状況・結果報告書」を作成する様式において、一部の記載項目の説明に不十分な個所があった。
4) 改善方針 「動物実験変更・追加承認申請書」や「実験実施状況・結果報告書」における記載項目に関する説明を周知徹底する。

3. 安全管理を要する動物実験の実施状況

(当該実験が安全に実施されているか?)

1) 評価結果 ☒ 該当する動物実験が適正に実施されている。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。 ☐ 該当する動物実験は、行われていない。
2) 自己点検の対象とした資料 (安全管理上の事故等があれば、事故記録を対象とする) 「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」、「国立大学法人埼玉大学遺伝子組換え実験実施規則」、「動物実験計画書」、「飼養保管施設設置承認申請書」、「実験室設置承認申請書」、「実験実施状況・結果報告書」
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。) 遺伝子組換え実験安全委員会との連携のもと本学の規則に即して実験が実施されており、問題となるケースは見受けられなかった。
4) 改善の方針 特になし。

4. 実験動物の飼養保管状況

(実験動物管理者の活動は適切か。飼養保管は飼養保管手順書等により適正に実施されているか?)

1) 評価結果 ☒ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」、「動物実験計画書」、「動物飼育室の利用マニュアル」
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。) 基本指針や「動物飼育室の利用マニュアル」に即して実施されており、飼養保管状況に問題は見受けられなかった。
4) 改善の方針 特になし。

5. 施設等の維持管理の状況

(機関内の飼養保管施設は適正な維持管理が実施されているか。修理等の必要な施設や設備に、改善計画は立てられているか?)

1) 評価結果 ☒ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に維持管理されている。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 「動物飼育室の利用マニュアル」、「(第一種圧力容器) 検査証」
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。) 臭気に対する苦情に関しては、平成 22 年度に空調の更新を行い、さらに、平成 23 年度に付属する工事を実施した結果、改善された。併せて、SPF 室のエアシャワーも更新した。
4) 改善の方針 施設等の維持管理をより一層進める必要がある。理学部 3 号館の飼育室を管理する科学分析支援セン

ターと協力し、設備（SPF 室の空調他）の更新計画を策定する。また、その他の施設（オートクレーブ他）についても関係各所と協議し、オーバーホールもしくは更新の計画を立てる。

6. 教育訓練の実施状況

(実験動物管理者、動物実験実施者、飼養者等に対する教育訓練を実施しているか?)

1) 評価結果
☒ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料
「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」、「動物実験教育訓練開催報告書」、「動物実験室利用マニュアル」
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）
教育訓練は、「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」に即して適正に実施されている。また、教育訓練を実施する際には、DVD 等も活用し、教育訓練を受けた者が当該年度の動物実験を行うことができることになっている。
4) 改善の方針
特になし。

7. 自己点検・評価・情報公開

(基本指針への適合性に関する自己点検・評価、関連事項の情報公開を実施しているか?)

1) 評価結果
☒ 基本指針に適合し、適正に実施されている。
☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料
(1) 自己点検・評価・・・平成 22 年度自己点検・評価報告書については、埼玉大学のホームページにおいて情報公開済みである。本自己点検・評価報告書（平成 23 年度）についても、情報公開を予定している。
(2) 関連事項の情報公開・・・「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」、「各種様式」、「平成 21～23 年度実績」、「埼玉大学動物実験委員会名簿」については、埼玉大学のホームページにおいて情報公開をしている。
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）
上記の情報公開がなされていることから、問題なしと判断する。
4) 改善の方針
特になし。

8. その他

(動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果)

世界動物保健機構の提言（2010 年）を受けて、本学動物実験委員会に獣医師（1 名）を加えることについて、次年度には具体的な人選をできるように検討を行った。
--

平成24年度
動物実験に関する自己点検・評価報告書

埼玉大学 動物実験委員会

平成25年11月

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

1) 評価結果
☒ 基本指針に適合する機関内規程が定められている。 ☐ 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 機関内規程が定められていない。
2) 自己点検の対象とした資料 「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 平成 19 年度までは、「埼玉大学動物実験指針」によって、埼玉大学における動物実験を運用していた。その後、文部科学省の基本指針（平成 18 年文部科学省告示 71 号）と、日本学術会議の策定したガイドラインに基づき、「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」を制定した（平成 19 年 8 月）。指針とガイドラインに沿った本規則を平成 20 年 9 月より施行しているため。
4) 改善の方針 特になし。

2. 動物実験委員会

1) 評価結果
☒ 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。 ☐ 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 動物実験委員会は置かれていない。
2) 自己点検の対象とした資料 「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」、「埼玉大学動物実験委員会名簿」
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」に即して動物実験委員会が置かれているため。
4) 改善の方針 特になし。

3. 動物実験の実施体制

（動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告の実施体制が定められているか？）

1) 評価結果
☒ 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。 ☐ 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 動物実験の実施体制が定められていない。
2) 自己点検の対象とした資料 「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」、「動物実験計画書」、「動物実験実施状況・結果報告書」、「飼養保管施設設置承認申請書」、「実験室設置承認申請書」、「飼養保管状況報告書」

3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点があれば、明記する。) 「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」に動物実験の実施体制等が定められているため。
4) 改善の方針 特になし。

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

(遺伝子組換え動物実験、感染動物実験等の実施体制が定められているか?)

1) 評価結果 ☒ 該当する動物実験の実施体制が定められている。 ☐ 該当する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 該当する動物実験の実施体制が定められていない。 ☐ 該当する動物実験は、行われていない。
2) 自己点検の対象とした資料 「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」、「国立大学法人埼玉大学遺伝子組換え実験実施規則」
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点があれば、明記する。) 遺伝子組換えを伴う動物実験では、動物実験計画書の承認に先立ち、遺伝子組換え実験安全委員会の承認を必要としているため。
4) 改善の方針 特になし。

5. 実験動物の飼養保管の体制

(機関内における実験動物の飼養保管施設が把握され、各施設に実験動物管理者が置かれているか?)

1) 評価結果 ☒ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 「飼養保管施設設置承認申請書」、「実験室設置承認申請書」
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。) 動物実験委員会では、「飼養保管施設設置承認申請書」によって申請された飼養保管施設について審査を行ない承認する体制をとっているため。なお、各施設の申請書内には実験動物管理者を記載することになっている。
4) 改善の方針 飼養保管施設や実験室設置に関する判断基準等の明文化について、委員会で作成したドラフトを元に、更なる検討を進める。

6. その他 (動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果)

特になし。

II. 実施状況

1. 動物実験委員会

(動物実験委員会は、機関内規程に定めた機能を果たしているか?)

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、適正に機能している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 (1) 動物実験委員会の開催日時及び審議内容の記録 (2) 「動物実験計画書」、「動物実験変更・追加承認申請書」、「動物実験終了・中止報告書」、「実験実施状況・結果報告書」、「飼養保管施設設置承認申請書」、「実験室設置承認申請書」、「飼養保管状況報告書」の調査・審議内容の記録 (3) 動物実験教育訓練開催報告書
3) 評価結果の判断理由(改善すべき点や問題があれば、明記する。) 上記の審議等は「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」に即して行い、また、これらの記録については、適切に保管されているため。
4) 改善の方針 特になし。

2. 動物実験の実施状況

(動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告が実施されているか?)

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 (1) 「動物実験計画書」、「動物実験変更・追加承認申請書」、「動物実験終了・中止報告書」 (2) 「動物実験計画書」に対する動物実験委員会での審査内容の記録 (3) 動物実験より得られた成績(論文)の報告書
3) 評価結果の判断理由(改善すべき点や問題があれば、明記する。) 「実験計画書」の審査・承認、「動物実験変更・追加承認申請書」や「実験実施状況・結果報告書」の提出については、「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」に即して行われているため。 また、「実験計画書」や「動物実験変更・追加承認申請書」において、実験責任者によって、実験期間における匹数の記載方法について差異が出る可能性があるが、委員長から実験責任者に周知を行い、記載方法の統一を図ったため。
4) 改善方針 特になし。

3. 安全管理を要する動物実験の実施状況

(当該実験が安全に実施されているか?)

1) 評価結果 ☒ 該当する動物実験が適正に実施されている。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。 ☐ 該当する動物実験は、行われていない。
2) 自己点検の対象とした資料 (安全管理上の事故等があれば、事故記録を対象とする) 「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」、「国立大学法人埼玉大学遺伝子組換え実験実施規則」、「動物実験計画書」、「飼養保管施設設置承認申請書」、「実験室設置承認申請書」、「実験実施状況・結果報告書」
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。) 遺伝子組換え実験安全委員会との連携のもと本学の規則に即して実験が実施されており、問題となるケースは見受けられなかったため。
4) 改善の方針 特になし。

4. 実験動物の飼養保管状況

(実験動物管理者の活動は適切か。飼養保管は飼養保管手順書等により適正に実施されているか?)

1) 評価結果 ☒ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」、「動物実験計画書」、「動物飼育室の利用マニュアル」
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。) 基本指針や「動物飼育室の利用マニュアル」に即して実施されており、飼養保管状況に問題は見受けられなかったため。
4) 改善の方針 特になし。

5. 施設等の維持管理の状況

(機関内の飼養保管施設は適正な維持管理が実施されているか。修理等の必要な施設や設備に、改善計画は立てられているか?)

1) 評価結果 ☒ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に維持管理されている。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 「動物飼育室の利用マニュアル」、「(第一種圧力容器) 検査証」
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。) 臭気に対する苦情に関しては、平成 22 年度に空調の更新を行い、さらに、平成 23 年度に付属する工事を実施した結果、改善されているため。
4) 改善の方針 動物飼育室を管理する科学分析支援センターで、動物飼育に関わる施設等の維持管理および運用について

て協議する体制の整備（ワーキンググループの設置等）を検討してもらう。

また、オートクレーブや SPF 飼育室の空調など、機器設備のオーバーホールもしくは更新の必要性について科学分析支援センターとともに検討する。

6. 教育訓練の実施状況

(実験動物管理者、動物実験実施者、飼養者等に対する教育訓練を実施しているか?)

1) 評価結果
☒ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」、「動物実験教育訓練開催報告書」、「動物実験室利用マニュアル」
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 教育訓練は、「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」に即して適正に実施されているため。なお、教育訓練を実施する際には、DVD 等も活用し、教育訓練を受けた者が当該年度の動物実験を行うことができることになっている。 また、平成 24 年度より留学生のために英語による教育訓練が開催され、さらに適正な実施が図られているため。
4) 改善の方針 特になし。

7. 自己点検・評価・情報公開

(基本指針への適合性に関する自己点検・評価、関連事項の情報公開を実施しているか?)

1) 評価結果
☒ 基本指針に適合し、適正に実施されている。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 (1) 自己点検・評価・・・平成 22～23 年度自己点検・評価報告書については、埼玉大学のホームページにおいて情報公開済みである。本自己点検・評価報告書（平成 24 年度）についても、情報公開を予定している。 (2) 関連事項の情報公開・・・「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」、「各種様式」、「平成 21～24 年度実績」、「埼玉大学動物実験委員会名簿」については、埼玉大学のホームページにおいて情報公開をしている。
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 上記の情報公開がなされているため。
4) 改善の方針 特になし。

8. その他

(動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果)

世界動物保健機構の提言（2010年）を受けて、
本学動物実験委員会において、当委員会委員に委嘱する獣医師の人選について検討し、獣医師免許を有する
他大学の教員への委嘱を決定した。（委嘱日：平成25年4月1日）

平成25年度
動物実験に関する自己点検・評価報告書

埼玉大学 動物実験委員会

平成27年2月

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

1) 評価結果
☒ 基本指針に適合する機関内規程が定められている。 ☐ 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 機関内規程が定められていない。
2) 自己点検の対象とした資料 「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」（平成19年8月制定）が適正に定められているため。
4) 改善の方針 特になし。

2. 動物実験委員会

1) 評価結果
☒ 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。 ☐ 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 動物実験委員会は置かれていない。
2) 自己点検の対象とした資料 「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」、「埼玉大学動物実験委員会名簿」
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」に即して動物実験委員会が置かれているため。
4) 改善の方針 特になし。

3. 動物実験の実施体制

（動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告の実施体制が定められているか？）

1) 評価結果
☒ 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。 ☐ 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 動物実験の実施体制が定められていない。
2) 自己点検の対象とした資料 「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」、「動物実験計画書」、「動物実験実施状況・結果報告書」、「飼養保管施設設置承認申請書」、「実験室設置承認申請書」、「飼養保管状況報告書」
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」に動物実験の実施体制等が定められているため。
4) 改善の方針 特になし。

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

(遺伝子組換え動物実験、感染動物実験等の実施体制が定められているか?)

1) 評価結果
☒ 該当する動物実験の実施体制が定められている。 ☐ 該当する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 該当する動物実験の実施体制が定められていない。 ☐ 該当する動物実験は、行われていない。
2) 自己点検の対象とした資料 「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」、「国立大学法人埼玉大学遺伝子組換え実験実施規則」
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点があれば、明記する。) 遺伝子組換えを伴う動物実験では、動物実験計画書の承認に先立ち、遺伝子組換え実験安全委員会の承認を必要としているため。
4) 改善の方針 特になし。

5. 実験動物の飼養保管の体制

(機関内における実験動物の飼養保管施設が把握され、各施設に実験動物管理者が置かれているか?)

1) 評価結果
☒ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 「飼養保管施設設置承認申請書」、「実験室設置承認申請書」
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。) 動物実験委員会では、「飼養保管施設設置承認申請書」によって申請された飼養保管施設について審査を行ない承認する体制をとっているため。なお、各施設の申請書内には実験動物管理者を記載することになっている。
4) 改善の方針 飼養保管施設や実験室設置に関する判断基準等の明文化について、委員会で作成した案を元に、引き続き検討を行う。

6. その他 (動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果)

特になし。

II. 実施状況

1. 動物実験委員会

(動物実験委員会は、機関内規程に定めた機能を果たしているか?)

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、適正に機能している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 (1) 動物実験委員会の開催日時及び審議内容の記録 (2) 「動物実験計画書」、「動物実験変更・追加承認申請書」、「動物実験終了・中止報告書」、「実験実施状況・結果報告書」、「飼養保管施設設置承認申請書」、「実験室設置承認申請書」、「飼養保管状況報告書」の調査・審議内容の記録 (3) 動物実験教育訓練開催報告書
3) 評価結果の判断理由(改善すべき点や問題があれば、明記する。) 上記の審議等は「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」に即して行い、また、これらの記録については、適切に保管されているため。
4) 改善の方針 特になし。

2. 動物実験の実施状況

(動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告が実施されているか?)

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 (1) 「動物実験計画書」、「動物実験変更・追加承認申請書」、「動物実験終了・中止報告書」 (2) 「動物実験計画書」に対する動物実験委員会での審査内容の記録 (3) 動物実験より得られた成績(論文)の報告書
3) 評価結果の判断理由(改善すべき点や問題があれば、明記する。) 実験動物の管理面(使用数等)や法改正を含む各種の制度変更等に、より柔軟に対応し、適正な動物実験の実施に向けた改善を図れるよう、動物実験計画書の実験実施期間を最長5年間から原則1年度以内へと変更した。
4) 改善方針 特になし。

3. 安全管理を要する動物実験の実施状況

(当該実験が安全に実施されているか?)

1) 評価結果 ☒ 該当する動物実験が適正に実施されている。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。 ☐ 該当する動物実験は、行われていない。
2) 自己点検の対象とした資料 (安全管理上の事故等があれば、事故記録を対象とする) 「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」、「国立大学法人埼玉大学遺伝子組換え実験実施規則」、「動物実験計画書」、「飼養保管施設設置承認申請書」、「実験室設置承認申請書」、「実験実施状況・結果報告書」
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。) 遺伝子組換え実験安全委員会との連携のもと本学の規則に即して実験が実施されており、問題となるケースは見受けられなかったため。
4) 改善の方針 特になし。

4. 実験動物の飼養保管状況

(実験動物管理者の活動は適切か。飼養保管は飼養保管手順書等により適正に実施されているか?)

1) 評価結果 ☒ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」、「動物実験計画書」、「動物飼育室の利用マニュアル」
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。) 基本指針や「動物飼育室の利用マニュアル」に即して実施されており、飼養保管状況に問題は見受けられなかったため。
4) 改善の方針 特になし。

5. 施設等の維持管理の状況

(機関内の飼養保管施設は適正な維持管理が実施されているか。修理等の必要な施設や設備に、改善計画は立てられているか?)

1) 評価結果 ☒ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に維持管理されている。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 「動物飼育室の利用マニュアル」、「(第一種圧力容器) 検査証」

3)	<p>評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>動物飼育室を管理する科学分析支援センターに、機器設備の更新計画や運用等について具体的な検討を行う動物飼育室専門委員会を設置し、飼養保管施設の適正な維持管理に向けた取り組みを進めているため。</p>
4)	<p>改善の方針</p> <p>特になし。</p>

6. 教育訓練の実施状況

（実験動物管理者、動物実験実施者、飼養者等に対する教育訓練を実施しているか？）

1)	<p>評価結果</p> <p>☒ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。</p> <p>☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p>☐ 多くの改善すべき問題がある。</p>
2)	<p>自己点検の対象とした資料</p> <p>「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」、「動物実験教育訓練開催報告書」、「動物実験室利用マニュアル」</p>
3)	<p>評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）</p> <p>教育訓練は、「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」に即して適正に実施されているため。なお、教育訓練を実施する際には、DVD 等も活用し、教育訓練を受けた者が当該年度の動物実験を行うことができることになっている。</p> <p>また、平成 24 年度より留学生のために英語による教育訓練を開催しており、引き続き適正な実施が図られているため。</p>
4)	<p>改善の方針</p> <p>特になし。</p>

7. 自己点検・評価・情報公開

（基本指針への適合性に関する自己点検・評価、関連事項の情報公開を実施しているか？）

1)	<p>評価結果</p> <p>☒ 基本指針に適合し、適正に実施されている。</p> <p>☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p>☐ 多くの改善すべき問題がある。</p>
2)	<p>自己点検の対象とした資料</p> <p>(1) 自己点検・評価・・・平成 22～24 年度自己点検・評価報告書については、埼玉大学のホームページにおいて情報公開済みである。本自己点検・評価報告書（平成 25 年度）についても、情報公開を予定している。</p> <p>(2) 関連事項の情報公開・・・「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」、「各種様式」、「平成 21～25 年度実績」、「埼玉大学動物実験委員会名簿」については、埼玉大学のホームページにおいて情報公開をしている。</p>
3)	<p>評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>上記の情報公開がなされているため。</p>
4)	<p>改善の方針</p> <p>特になし。</p>

8. その他

(動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果)

「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」に明確に定められていない両生類及び魚類の生体を使用する動物実験等の取り扱いについて、必要な事項を定める申し合わせを制定した。(平成 26 年 2 月制定)

平成26年度
動物実験に関する自己点検・評価報告書

埼玉大学 動物実験委員会

平成27年12月

規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

1) 評価結果
☒ 基本指針に適合する機関内規程が定められている。 ☐ 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 機関内規程が定められていない。
2) 自己点検の対象とした資料
「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」、「動物飼育室の利用マニュアル」、「両生類及び魚類を使用する動物実験に関する申合せ」、「動物実験計画書における実験実施期間の取り扱いについて」、「埼玉大学における災害対応マニュアル(実験動物関連)」、「国立大学法人埼玉大学 動物実験管理体制図」
3) 評価結果の判断理由(改善すべき点があれば、明記する。)
「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」(平成19年8月制定)が適正に定められているため。
4) 改善の方針
特になし。

2. 動物実験委員会

1) 評価結果
☒ 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。 ☐ 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 動物実験委員会は置かれていない。
2) 自己点検の対象とした資料
「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」、「埼玉大学動物実験委員会名簿」
3) 評価結果の判断理由(改善すべき点があれば、明記する。)
「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」に即して動物実験委員会が置かれているため。
4) 改善の方針
特になし。

3. 動物実験の実施体制

(動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告の実施体制が定められているか?)

1) 評価結果
☒ 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。 ☐ 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 動物実験の実施体制が定められていない。
2) 自己点検の対象とした資料
「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」、「動物実験計画書」、「動物実験(変更・追加)承認申請書」、「動物実験(終了・中止)報告書」、「動物実験実施状況・結果報告書」、「飼養保管施設設置承認申請書」、「実験室設置承認申請書」、「施設等(飼養保管施設・動物実験室)廃止届」、「飼養保管状況報告書」

3) 評価結果の判断理由(改善すべき点があれば、明記する。) 「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」に動物実験の実施体制等が定められているため。
4) 改善の方針 特になし。

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

(遺伝子組換え動物実験、感染動物実験等の実施体制が定められているか?)

1) 評価結果 該当する動物実験の実施体制が定められている。 ☒ 該当する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 該当する動物実験の実施体制が定められていない。 ☐ 該当する動物実験は、行われていない。
2) 自己点検の対象とした資料 「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」、「国立大学法人埼玉大学遺伝子組換え実験実施規則」、 「国立大学法人埼玉大学放射線障害予防規則」
3) 評価結果の判断理由(改善すべき点があれば、明記する。) 遺伝子組換えを伴う動物実験では、動物実験計画書の承認に先立ち、遺伝子組換え実験安全委員会の承認を必要としており、適正に実施されている。また、物理的又は化学的に危険な材料(有害化学物質、放射性物質等)や病原体等を扱う動物実験については、本学ではこれまでに実施されていないため、関連するルール等は定められていない。今後実施する可能性も考慮し、ルールの制定を行う必要がある。
4) 改善の方針 安全管理に注意を要する動物実験の取扱いに関するルール等の制定を検討する。

5. 実験動物の飼養保管の体制

(機関内における実験動物の飼養保管施設が把握され、各施設に実験動物管理者が置かれているか?)

1) 評価結果 ☒ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 「飼養保管施設設置承認申請書」、「実験室設置承認申請書」、「動物飼育室の利用マニュアル」、「埼玉大学における災害対応マニュアル(実験動物関連)」
3) 評価結果の判断理由(改善すべき点や問題があれば、明記する。) 動物実験委員会では、「飼養保管施設設置承認申請書」によって申請された飼養保管施設について審査を行い承認する体制をとっているため。なお、各施設の申請書内には実験動物管理者を記載することになっている。利用者には教育訓練にて「動物飼育室の利用マニュアル」の内容を説明しており、マニュアルに基づき運用することを徹底している。また、平成26年10月に「埼玉大学における災害対応マニュアル(実験動物関連)」を策定し、緊急時における対応方法を定めている。
4) 改善の方針 飼養保管施設や実験室設置に関する判断基準等の明文化について、委員会で作成した案を元に、引き続き検討を行う。

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

特になし。

実施状況

1. 動物実験委員会

（動物実験委員会は、機関内規程に定めた機能を果たしているか？）

1) 評価結果
☒ 基本指針に適合し、適正に機能している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料
(1) 動物実験委員会の開催日時及び審議内容の記録 (2) 「動物実験計画書」、「動物実験変更・追加承認申請書」、「動物実験終了・中止報告書」、「実験実施状況・結果報告書」、「飼養保管施設設置承認申請書」、「実験室設置承認申請書」、「飼養保管状況報告書」の調査・審議内容の記録 (3) 動物実験教育訓練開催報告書
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）
上記の審議等は「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」に即して行い、また、これらの記録については、適切に保管されているため。
4) 改善の方針
特になし。

2. 動物実験の実施状況

（動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告が実施されているか？）

1) 評価結果
☒ 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料
(1) 「動物実験計画書」、「動物実験変更・追加承認申請書」、「動物実験終了・中止報告書」、「動物実験実施状況・結果報告書」 (2) 「動物実験計画書」に対する動物実験委員会での審査内容の記録 (3) 動物実験より得られた成績（論文）の報告書
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）
各実験責任者から一年ごとに報告を徴収して委員会にて実施状況を確認しており、「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」に即して適正に実施されている。
4) 改善方針
特になし。

3. 安全管理を要する動物実験の実施状況

(当該実験が安全に実施されているか?)

1) 評価結果 ☒ 該当する動物実験が適正に実施されている。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。 ☐ 該当する動物実験は、行われていない。
2) 自己点検の対象とした資料(安全管理上の事故等があれば、事故記録を対象とする) 「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」、「国立大学法人埼玉大学遺伝子組換え実験実施規則」、「動物実験計画書」、「飼養保管施設設置承認申請書」、「実験室設置承認申請書」、「実験実施状況・結果報告書」
3) 評価結果の判断理由(改善すべき点や問題があれば、明記する。) 遺伝子組換え実験安全委員会との連携のもと本学の規則に即して実験が実施されており、問題となるケースは見受けられなかったため。また、物理的又は化学的に危険な材料(有害化学物質、放射性物質等)や病原体等を扱う動物実験については、本学ではこれまでに実施されていない。
4) 改善の方針 特になし。

4. 実験動物の飼養保管状況

(実験動物管理者の活動は適切か。飼養保管は飼養保管手順書等により適正に実施されているか?)

1) 評価結果 ☒ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」、「動物実験計画書」、「動物飼育室の利用マニュアル」
3) 評価結果の判断理由(改善すべき点や問題があれば、明記する。) 基本指針や「動物飼育室の利用マニュアル」に即して実施されており、飼養保管状況に問題は見受けられなかったため。
4) 改善の方針 特になし。

5. 施設等の維持管理の状況

(機関内の飼養保管施設は適正な維持管理が実施されているか。修理等の必要な施設や設備に、改善計画は立てられているか?)

1) 評価結果 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に維持管理されている。 ☒ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 「動物飼育室の利用マニュアル」、「(第一種圧力容器)検査証」

<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>動物飼育室を管理する科学分析支援センターに、機器設備の更新計画や運用等について具体的な検討を行う動物飼育室専門委員会を設置し、飼養保管施設の適正な維持管理に向けた取り組みを進めている。担当教員（動物実験管理者、飼養者等）は各飼養保管施設の状況確認等を行っているが、委員会としての定期的な調査・視察等は制度化されていないため、検討を行う必要がある。</p>
<p>4) 改善の方針</p> <p>飼養保管施設の調査・視察等を委員会の定例的な業務として制度化することを検討する。</p>

6. 教育訓練の実施状況

（実験動物管理者、動物実験実施者、飼養者等に対する教育訓練を実施しているか？）

<p>1) 評価結果</p> <p>☒ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。</p> <p>☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p>☐ 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」、「動物実験教育訓練開催報告書」、「動物実験室利用マニュアル」</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）</p> <p>教育訓練は、「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」に即して適正に実施されているため。なお、教育訓練を実施する際には、DVD 等も活用し、教育訓練を受けた者が当該年度の動物実験を行うことができることになっている。また、平成 24 年度より留学生のために英語による教育訓練を開催しており、引き続き適正な実施が図られているため。</p>
<p>4) 改善の方針</p> <p>教育訓練内容のより一層の充実化を図るため、使用教材等の見直しを検討する。</p>

7. 自己点検・評価・情報公開

（基本指針への適合性に関する自己点検・評価、関連事項の情報公開を実施しているか？）

<p>1) 評価結果</p> <p>☒ 基本指針に適合し、適正に実施されている。</p> <p>☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p>☐ 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>(1) 自己点検・評価・・・平成 22～25 年度自己点検・評価報告書については、埼玉大学のホームページにおいて情報公開済みである。本自己点検・評価報告書（平成 26 年度）についても、情報公開を予定している。</p> <p>(2) 関連事項の情報公開・・・「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」、「各種様式」、「平成 21～26 年度実績」、「埼玉大学動物実験委員会名簿」については、埼玉大学のホームページにおいて情報公開をしている。</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>上記の情報公開がなされているため。</p>
<p>4) 改善の方針</p> <p>特になし。</p>

8 . その他

(動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果)

特になし。

平成27年度
動物実験に関する自己点検・評価報告書

埼玉大学 動物実験委員会

平成28年11月

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

1) 評価結果
☒ 基本指針に適合する機関内規程が定められている。 ☐ 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 機関内規程が定められていない。
2) 自己点検の対象とした資料
「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」、「動物飼育室の利用マニュアル」、「両生類及び魚類を使用する動物実験に関する申合せ」、「動物実験計画書における実験実施期間の取り扱いについて」、「埼玉大学における災害対応マニュアル（実験動物関連）」、「発がん物質等危険物質を用いた動物実験に関する申合せ」
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）
「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」（平成 19 年 8 月制定）が適正に定められているため。
4) 改善の方針
特になし。

2. 動物実験委員会

1) 評価結果
☒ 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。 ☐ 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 動物実験委員会は置かれていない。
2) 自己点検の対象とした資料
「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」、「埼玉大学動物実験委員会名簿」
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）
「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」に即して動物実験委員会が置かれているため。
4) 改善の方針
特になし。

3. 動物実験の実施体制

（動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告の実施体制が定められているか？）

1) 評価結果
☒ 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。 ☐ 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 動物実験の実施体制が定められていない。
2) 自己点検の対象とした資料
「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」、「動物実験計画書」、「動物実験（変更・追加）承認申請書」、「動物実験（終了・中止）報告書」、「動物実験実施状況・結果報告書」、「飼養保管施設設置承認申請書」、「実験室設置承認申請書」、「施設等（飼養保管施設・動物実験室）廃止届」、「飼養保管状況報告書」

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」に動物実験の実施体制等が定められているため。
4) 改善の方針 特になし。

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

（遺伝子組換え動物実験、感染動物実験等の実施体制が定められているか？）

1) 評価結果 ☐ 該当する動物実験の実施体制が定められている。 ☒ 該当する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 該当する動物実験の実施体制が定められていない。 ☐ 該当する動物実験は、行われていない。
2) 自己点検の対象とした資料 「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」、「国立大学法人埼玉大学遺伝子組換え実験実施規則」、 「国立大学法人埼玉大学放射線障害予防規則」、「発がん物質等危険物質を用いた動物実験に関する申合せ」
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 遺伝子組換えを伴う動物実験では、動物実験計画書の承認に先立ち、遺伝子組換え実験安全委員会の承認を必要としており、適正に実施されている。また、平成 28 年 1 月に「発がん物質等危険物質を用いた動物実験に関する申合せ」を策定し、有害化学物質を用いた動物実験の取扱いを定めた。しかし、病原体等を扱う動物実験については、本学ではこれまでに実施されていないため、関連するルール等は定められていない。今後実施する可能性も考慮し、ルールの制定を行う必要がある。
4) 改善の方針 安全管理に注意を要する動物実験の取扱いに関するルール等の制定を引き続き検討する。

5. 実験動物の飼養保管の体制

（機関内における実験動物の飼養保管施設が把握され、各施設に実験動物管理者が置かれているか？）

1) 評価結果 ☒ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 「飼養保管施設設置承認申請書」、「実験室設置承認申請書」、「動物飼育室の利用マニュアル」、「埼玉大学における災害対応マニュアル（実験動物関連）」
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 動物実験委員会では、「飼養保管施設設置承認申請書」によって申請された飼養保管施設について審査を行い承認する体制をとっているため。なお、各施設の申請書内には実験動物管理者を記載することになっている。利用者には教育訓練にて「動物飼育室の利用マニュアル」の内容を説明しており、マニュアルに基づき運用することを徹底している。また、「埼玉大学における災害対応マニュアル（実験動物関連）」では、緊急時における対応方法を定めている。

4) 改善の方針

飼養保管施設や実験室設置に関する判断基準等の明文化について、委員会で作成した案を元に、引き続き検討を行う。

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

特になし。

II. 実施状況

1. 動物実験委員会

（動物実験委員会は、機関内規程に定めた機能を果たしているか？）

1) 評価結果

- 基本指針に適合し、適正に機能している。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

- (1) 動物実験委員会の開催日時及び審議内容の記録
- (2) 「動物実験計画書」、「動物実験変更・追加承認申請書」、「動物実験終了・中止報告書」、「実験実施状況・結果報告書」、「飼養保管施設設置承認申請書」、「実験室設置承認申請書」、「飼養保管状況報告書」の調査・審議内容の記録
- (3) 動物実験教育訓練開催報告書

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

上記の審議等は「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」に即して行い、議事録についても、適切に保管されている。しかし、メール審議の際、各委員からのコメントを委員全員が閲覧し共有する体制を整える必要がある。

4) 改善の方針

メール審議の際、各委員からのコメントを委員全員が閲覧し共有する体制を検討する。

2. 動物実験の実施状況

（動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告が実施されているか？）

1) 評価結果

- 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

- (1) 「動物実験計画書」、「動物実験変更・追加承認申請書」、「動物実験終了・中止報告書」、「動物実験実施状況・結果報告書」
- (2) 「動物実験計画書」に対する動物実験委員会での審査内容の記録
- (3) 動物実験より得られた成績（論文）の報告書

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 各実験責任者から一年ごとに報告を徴収して委員会にて実施状況を確認しており、「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」に即して適正に実施されている。
4) 改善方針 特になし。

3. 安全管理を要する動物実験の実施状況
(当該実験が安全に実施されているか?)

1) 評価結果 ☒ 該当する動物実験が適正に実施されている。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。 ☐ 該当する動物実験は、行われていない。
2) 自己点検の対象とした資料（安全管理上の事故等があれば、事故記録を対象とする） 「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」、「国立大学法人埼玉大学遺伝子組換え実験実施規則」、「発がん物質等危険物質を用いた動物実験に関する申合せ」、「動物実験計画書」、「飼養保管施設設置承認申請書」、「実験室設置承認申請書」、「実験実施状況・結果報告書」
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 遺伝子組換え実験安全委員会との連携のもと本学の規則に即して実験が実施されており、問題となるケースは見受けられなかったため。また、発がん物質等危険物質を用いた動物実験についても申合せに即して実験が実施された。なお、病原体等を扱う動物実験については、本学ではこれまでに実施されていない。
4) 改善の方針 特になし。

4. 実験動物の飼養保管状況

(実験動物管理者の活動は適切か。飼養保管は飼養保管手順書等により適正に実施されているか?)

1) 評価結果 ☐ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 ☒ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」、「動物実験計画書」、「動物飼育室の利用マニュアル」
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 基本指針や「動物飼育室の利用マニュアル」に即して実施されているが、微生物学的清浄度の把握のため、定期的に微生物モニタリングを実施する必要がある。
4) 改善の方針 微生物モニタリングの実施のため、次年度予算の措置を検討する。

5. 施設等の維持管理の状況

(機関内の飼養保管施設は適正な維持管理が実施されているか。修理等の必要な施設や設備に、改善計画は立てられているか?)

1) 評価結果 ☐ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に維持管理されている。 ☒ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 「動物飼育室の利用マニュアル」、「(第一種圧力容器) 検査証」
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。) 動物飼育室を管理する科学分析支援センターに、機器設備の更新計画や運用等について具体的な検討を行う動物飼育室専門委員会を設置し、飼養保管施設の適正な維持管理に向けた取り組みを進めている。担当教員 (動物実験管理者、飼養者等) は各飼養保管施設の状況確認等を行っているが、委員会としての定期的な調査・視察等は制度化されていないため、検討を行う必要がある。
4) 改善の方針 飼養保管施設の調査・視察等を委員会の定例的な業務として制度化することを検討する。

6. 教育訓練の実施状況

(実験動物管理者、動物実験実施者、飼養者等に対する教育訓練を実施しているか?)

1) 評価結果 ☐ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 ☒ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」、「動物実験教育訓練開催報告書」、「動物実験室利用マニュアル」
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点があれば、明記する。) 教育訓練は、「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」に即して適正に実施されているため。なお、教育訓練を実施する際には、DVD 等も活用し、教育訓練を受けた者が当該年度の動物実験を行うことができることになっている。また、留学生のための英語による教育訓練を平成 24 年度から開催しており、平成 27 年 10 月には人獣共通感染症セミナーを開催し、引き続き適正な実施が図られているため。
4) 改善の方針 教育訓練内容のより一層の充実化を図るため、新しい DVD の購入等、次年度予算の措置を検討する。

7. 自己点検・評価・情報公開

(基本指針への適合性に関する自己点検・評価、関連事項の情報公開を実施しているか?)

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、適正に実施されている。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

(1) 自己点検・評価・・・平成 22～26 年度自己点検・評価報告書については、埼玉大学のホームページにおいて情報公開済みである。本自己点検・評価報告書（平成 27 年度）についても、情報公開を予定している。

(2) 関連事項の情報公開・・・「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」、「各種様式」、「平成 21～27 年度実績」、「埼玉大学動物実験委員会名簿」、「学外者による検証（外部評価）」については、埼玉大学のホームページにおいて情報公開をしている。

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

上記の情報公開がなされているため。

4) 改善の方針

特になし。

8. その他

(動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果)

特になし。

平成28年度
動物実験に関する自己点検・評価報告書

埼玉大学 動物実験委員会

平成29年10月

規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

1) 評価結果
☒ 基本指針に適合する機関内規程が定められている。 ☐ 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 機関内規程が定められていない。
2) 自己点検の対象とした資料
「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」、「動物飼育室の利用マニュアル」、「両生類及び魚類を使用する動物実験に関する申合せ」、「動物実験計画書における実験実施期間の取り扱いについて」、「埼玉大学における災害対応マニュアル(実験動物関連)」、「発がん物質等危険物質を用いた動物実験に関する申合せ」
3) 評価結果の判断理由(改善すべき点があれば、明記する。)
「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」(平成19年8月制定)が適正に定められているため。
4) 改善の方針
特になし。

2. 動物実験委員会

1) 評価結果
☒ 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。 ☐ 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 動物実験委員会は置かれていない。
2) 自己点検の対象とした資料
「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」、「埼玉大学動物実験委員会名簿」
3) 評価結果の判断理由(改善すべき点があれば、明記する。)
「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」に即して動物実験委員会が置かれているため。
4) 改善の方針
特になし。

3. 動物実験の実施体制

(動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告の実施体制が定められているか?)

1) 評価結果
☒ 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。 ☐ 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 動物実験の実施体制が定められていない。
2) 自己点検の対象とした資料
「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」、「動物実験計画書」、「動物実験(変更・追加)承認申請書」、「動物実験(終了・中止)報告書」、「動物実験実施状況・結果報告書」、「飼養保管施設設置承認申請書」、「実験室設置承認申請書」、「施設等(飼養保管施設・動物実験室)廃止届」、「飼養保管状況報告書」

<p>3) 評価結果の判断理由(改善すべき点があれば、明記する。)</p> <p>「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」に動物実験の実施体制等が定められているため。</p>
<p>4) 改善の方針</p> <p>特になし。</p>

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

(遺伝子組換え動物実験、感染動物実験等の実施体制が定められているか?)

<p>1) 評価結果</p> <p>該当する動物実験の実施体制が定められている。</p> <p>☒ 該当する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。</p> <p>☐ 該当する動物実験の実施体制が定められていない。</p> <p>☐ 該当する動物実験は、行われていない。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」、「国立大学法人埼玉大学遺伝子組換え実験実施規則」、「国立大学法人埼玉大学放射線障害予防規則」、「発がん物質等危険物質を用いた動物実験に関する申告せ」</p>
<p>3) 評価結果の判断理由(改善すべき点があれば、明記する。)</p> <p>遺伝子組換えを伴う動物実験では、動物実験計画書の承認に先立ち、遺伝子組換え実験安全委員会の承認を必要としており、適正に実施されている。病原体等を扱う動物実験については、本学ではこれまでに実施されていないため、関連するルール等は定められていない。今後実施する可能性も考慮し、ルールの制定について検討する必要がある。</p>
<p>4) 改善の方針</p> <p>安全管理に注意を要する動物実験の取扱いに関するルール等の制定を引き続き検討する。</p>

5. 実験動物の飼養保管の体制

(機関内における実験動物の飼養保管施設が把握され、各施設に実験動物管理者が置かれているか?)

<p>1) 評価結果</p> <p>☒ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。</p> <p>☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p>☐ 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>「飼養保管施設設置承認申請書」、「実験室設置承認申請書」、「動物飼育室の利用マニュアル」、「埼玉大学における災害対応マニュアル(実験動物関連)」</p>
<p>3) 評価結果の判断理由(改善すべき点や問題があれば、明記する。)</p> <p>動物実験委員会では、「飼養保管施設設置承認申請書」によって申請された飼養保管施設について審査を行い承認する体制をとっているため。なお、各施設の申請書内には実験動物管理者を記載することになっている。飼養保管施設毎に「動物飼育室の利用マニュアル」を定め、利用者には教育訓練にて内容を説明し、マニュアルに基づき運用することを徹底している。また、「埼玉大学における災害対応マニュアル(実験動物関連)」では、緊急時における対応方法を定めている。</p>
<p>4) 改善の方針</p> <p>飼養保管施設や実験室設置に関する判断基準等の明文化について、委員会で作成した案を元に、引き続き検討を行う。</p>

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

特になし。

実施状況

1. 動物実験委員会

（動物実験委員会は、機関内規程に定めた機能を果たしているか？）

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、適正に機能している。 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 (1) 動物実験委員会の開催日時及び審議内容の記録 (2) 「動物実験計画書」、「動物実験変更・追加承認申請書」、「動物実験終了・中止報告書」、「実験実施状況・結果報告書」、「飼養保管施設設置承認申請書」、「実験室設置承認申請書」、「飼養保管状況報告書」の調査・審議内容の記録 (3) 動物実験教育訓練開催報告書
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 上記の審議等は「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」に即して行い、議事録についても、適切に保管され、メール審議の際、各委員からのコメントを委員全員が閲覧し共有する体制も整っている。
4) 改善の方針 特になし。

2. 動物実験の実施状況

（動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告が実施されているか？）

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 (1) 「動物実験計画書」、「動物実験変更・追加承認申請書」、「動物実験終了・中止報告書」、「動物実験実施状況・結果報告書」 (2) 「動物実験計画書」に対する動物実験委員会での審査内容の記録 (3) 動物実験より得られた成績（論文）の報告書
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 各実験責任者から一年ごとに報告を徴収して委員会にて実施状況を確認しており、「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」に即して適正に実施されている。
4) 改善方針 特になし。

3. 安全管理を要する動物実験の実施状況

(当該実験が安全に実施されているか?)

1) 評価結果 ☒ 該当する動物実験が適正に実施されている。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。 ☐ 該当する動物実験は、行われていない。
2) 自己点検の対象とした資料(安全管理上の事故等があれば、事故記録を対象とする) 「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」、「国立大学法人埼玉大学遺伝子組換え実験実施規則」、「発がん物質等危険物質を用いた動物実験に関する申合せ」、「動物実験計画書」、「飼養保管施設設置承認申請書」、「実験室設置承認申請書」、「実験実施状況・結果報告書」
3) 評価結果の判断理由(改善すべき点や問題があれば、明記する。) 遺伝子組換え実験安全委員会との連携のもと本学の規則に即して実験が実施されており、問題となるケースは見受けられなかったため。また、発がん物質等危険物質を用いた動物実験についても申合せに即して実験が実施された。なお、病原体等を扱う動物実験については、本学ではこれまでに実施されていない。
4) 改善の方針 特になし。

4. 実験動物の飼養保管状況

(実験動物管理者の活動は適切か。飼養保管は飼養保管手順書等により適正に実施されているか?)

1) 評価結果 ☒ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」、「動物実験計画書」、「動物飼育室の利用マニュアル」
3) 評価結果の判断理由(改善すべき点や問題があれば、明記する。) 基本指針や「動物飼育室の利用マニュアル」に即して実施されており、平成28年度は微生物学的清浄度の把握のため、微生物モニタリングを実施した。
4) 改善の方針 定期的な微生物モニタリングの実施のため、今後も引き続き予算の措置を検討する。

5. 施設等の維持管理の状況

(機関内の飼養保管施設は適正な維持管理が実施されているか。修理等の必要な施設や設備に、改善計画は立てられているか?)

1) 評価結果 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に維持管理されている。 ☒ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 「動物飼育室の利用マニュアル」、「(第一種圧力容器)検査証」

<p>3) 評価結果の判断理由(改善すべき点や問題があれば、明記する。)</p> <p>動物飼育室を管理する科学分析支援センターに、機器設備の更新計画や運用等について具体的な検討を行う動物飼育室専門委員会を設置し、飼養保管施設の適正な維持管理に向けた取り組みを進めている。担当教員(動物実験管理者、飼養者等)は各飼養保管施設の状況確認等を行っているが、委員会としての定期的な調査・視察等は制度化されていないため、検討を行う必要がある。</p>
<p>4) 改善の方針</p> <p>飼養保管施設の調査・視察等を委員会の定例的な業務として制度化することを検討する。</p>

6. 教育訓練の実施状況

(実験動物管理者、動物実験実施者、飼養者等に対する教育訓練を実施しているか?)

<p>1) 評価結果</p> <p>☒ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p>☐ 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」、「動物実験教育訓練開催報告書」、「動物実験室利用マニュアル」</p>
<p>3) 評価結果の判断理由(改善すべき点があれば、明記する。)</p> <p>教育訓練は、「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」に即して適正に実施されているため。なお、教育訓練を実施する際には、DVD 等も活用し、教育訓練を受けた者が当該年度の動物実験を行うことができることになっている。留学生のための英語による教育訓練も引き続き実施しており、平成 28 年度は新たな DVD 教材を取り入れ、教育訓練の内容の充実化を図っている。</p>
<p>4) 改善の方針</p> <p>教育訓練内容のより一層の充実化を図るため、今後も使用教材の見直し等を検討する。</p>

7. 自己点検・評価・情報公開

(基本指針への適合性に関する自己点検・評価、関連事項の情報公開を実施しているか?)

<p>1) 評価結果</p> <p>☒ 基本指針に適合し、適正に実施されている。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>(1) 自己点検・評価・・・平成 22~27 年度自己点検・評価報告書については、埼玉大学のホームページにおいて情報公開済みである。本自己点検・評価報告書(平成 28 年度)についても、情報公開を予定している。</p> <p>(2) 関連事項の情報公開・・・「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」、「各種様式」、「平成 21~28 年度実績」、「埼玉大学動物実験委員会名簿」、「学外者による検証(外部評価)」については、埼玉大学のホームページにおいて情報公開をしている。</p>
<p>3) 評価結果の判断理由(改善すべき点や問題があれば、明記する。)</p> <p>上記の情報公開がなされているため。</p>
<p>4) 改善の方針</p> <p>特になし。</p>

8. その他

(動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果)

特になし。

平成29年度
動物実験に関する自己点検・評価報告書

埼玉大学 動物実験委員会

平成30年10月

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

1) 評価結果
☒ 基本指針に適合する機関内規程が定められている。 ☐ 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 機関内規程が定められていない。
2) 自己点検の対象とした資料
「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」、「動物飼育室の利用マニュアル」、「両生類及び魚類を使用する動物実験に関する申合せ」、「動物実験計画書における実験実施期間の取り扱いについて」、「埼玉大学における災害対応マニュアル（実験動物関連）」、「発がん物質等危険物質を用いた動物実験に関する申合せ」
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）
「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」（平成19年8月制定）が適正に定められているため。
4) 改善の方針
特になし。

2. 動物実験委員会

1) 評価結果
☒ 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。 ☐ 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 動物実験委員会は置かれていない。
2) 自己点検の対象とした資料
「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」、「埼玉大学動物実験委員会名簿」
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）
「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」に即して動物実験委員会が置かれているため。
4) 改善の方針
特になし。

3. 動物実験の実施体制

（動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告の実施体制が定められているか？）

1) 評価結果
☒ 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。 ☐ 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 動物実験の実施体制が定められていない。
2) 自己点検の対象とした資料
「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」、「動物実験計画書」、「動物実験（変更・追加）承認申請書」、「動物実験（終了・中止）報告書」、「動物実験実施状況・結果報告書」、「飼養保管施設設置承認申請書」、「実験室設置承認申請書」、「施設等（飼養保管施設・動物実験室）廃止届」、「飼養保管状況報告書」

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」に動物実験の実施体制等が定められているため。
4) 改善の方針 特になし。

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

（遺伝子組換え動物実験、感染動物実験等の実施体制が定められているか？）

1) 評価結果 ☐ 該当する動物実験の実施体制が定められている。 ☒ 該当する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 該当する動物実験の実施体制が定められていない。 ☐ 該当する動物実験は、行われていない。
2) 自己点検の対象とした資料 「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」、「国立大学法人埼玉大学遺伝子組換え実験実施規則」、 「国立大学法人埼玉大学放射線障害予防規則」、「発がん物質等危険物質を用いた動物実験に関する申合せ」
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 遺伝子組換えを伴う動物実験では、動物実験計画書の承認に先立ち、遺伝子組換え実験安全委員会の承認を必要としており、適正に実施されている。病原体等を扱う動物実験については、本学ではこれまでに実施されていないため、関連するルール等は定められていない。今後実施する可能性も考慮し、ルールの制定について検討する必要がある。
4) 改善の方針 安全管理に注意を要する動物実験の取扱いに関するルール等の制定を引き続き検討する。

5. 実験動物の飼養保管の体制

（機関内における実験動物の飼養保管施設が把握され、各施設に実験動物管理者が置かれているか？）

1) 評価結果 ☒ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 「飼養保管施設設置承認申請書」、「実験室設置承認申請書」、「動物飼育室の利用マニュアル」、「埼玉大学における災害対応マニュアル（実験動物関連）」
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 動物実験委員会では、「飼養保管施設設置承認申請書」によって申請された飼養保管施設について審査を行い承認する体制をとっているため。なお、各施設の申請書内には実験動物管理者を記載することになっている。飼養保管施設毎に「動物飼育室の利用マニュアル」を定め、利用者には教育訓練にて内容を説明し、マニュアルに基づき運用することを徹底している。また、「埼玉大学における災害対応マニュアル（実験動物関連）」では、緊急時における対応方法を定めている。
4) 改善の方針 飼養保管施設や実験室設置に関する判断基準等の明文化について、委員会で作成した案を元に、引き続き検討を行う。

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

特になし。

II. 実施状況

1. 動物実験委員会

（動物実験委員会は、機関内規程に定めた機能を果たしているか？）

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、適正に機能している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 (1) 動物実験委員会の開催日時及び審議内容の記録 (2) 「動物実験計画書」、「動物実験変更・追加承認申請書」、「動物実験終了・中止報告書」、「実験実施状況・結果報告書」、「飼養保管施設設置承認申請書」、「実験室設置承認申請書」、「飼養保管状況報告書」の調査・審議内容の記録 (3) 動物実験教育訓練開催報告書
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 上記の審議等は「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」に即して行い、議事録についても、適切に保管され、メール審議の際、各委員からのコメントを委員全員が閲覧し共有する体制も整っている。
4) 改善の方針 特になし。

2. 動物実験の実施状況

（動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告が実施されているか？）

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 (1) 「動物実験計画書」、「動物実験変更・追加承認申請書」、「動物実験終了・中止報告書」、「動物実験実施状況・結果報告書」 (2) 「動物実験計画書」に対する動物実験委員会での審査内容の記録 (3) 動物実験より得られた成績（論文）の報告書
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 各実験責任者から一年ごとに報告を徴収して委員会にて実施状況を確認しており、「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」に即して適正に実施されている。
4) 改善方針 結果報告の実施体制改善のために動物実験報告書及び動物実験実施状況・結果報告書の統合・整理について、検討する。

3. 安全管理を要する動物実験の実施状況

(当該実験が安全に実施されているか?)

1) 評価結果 ☒ 該当する動物実験が適正に実施されている。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。 ☐ 該当する動物実験は、行われていない。
2) 自己点検の対象とした資料 (安全管理上の事故等があれば、事故記録を対象とする) 「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」、「国立大学法人埼玉大学遺伝子組換え実験実施規則」、「発がん物質等危険物質を用いた動物実験に関する申合せ」、「動物実験計画書」、「飼養保管施設設置承認申請書」、「実験室設置承認申請書」、「実験実施状況・結果報告書」
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。) 遺伝子組換え実験安全委員会との連携のもと本学の規則に即して実験が実施されており、問題となるケースは見受けられなかったため。また、発がん物質等危険物質を用いた動物実験についても申合せに即して実験が実施された。なお、病原体等を扱う動物実験については、本学ではこれまでに実施されていない。
4) 改善の方針 特になし。

4. 実験動物の飼養保管状況

(実験動物管理者の活動は適切か。飼養保管は飼養保管手順書等により適正に実施されているか?)

1) 評価結果 ☒ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」、「動物実験計画書」、「動物飼育室の利用マニュアル」
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。) 基本指針や「動物飼育室の利用マニュアル」に即して実施されており、平成 29 年度は微生物学的清浄度の把握のため、微生物モニタリングを実施した。
4) 改善の方針 定期的な微生物モニタリングの実施のため、今後も引き続き予算の措置を検討する。

5. 施設等の維持管理の状況

(機関内の飼養保管施設は適正な維持管理が実施されているか。修理等の必要な施設や設備に、改善計画は立てられているか?)

1) 評価結果 ☐ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に維持管理されている。 ☒ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 「動物飼育室の利用マニュアル」、「(第一種圧力容器) 検査証」

3)	<p>評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>動物飼育室を管理する科学分析支援センターにて、機器設備の更新計画や運用等の具体について検討し、動物実験委員会にて飼養保管施設の適正な維持管理に向けた取り組みを進めている。担当教員（動物実験管理者、飼養者等）は各飼養保管施設の状況確認等を行っているが、動物実験委員会としての定期的な調査・視察等は制度化されていないため、検討を行う必要がある。</p>
4)	<p>改善の方針</p> <p>飼養保管施設の調査・視察等を委員会の定例的な業務として制度化することを検討する。</p>

6. 教育訓練の実施状況

（実験動物管理者、動物実験実施者、飼養者等に対する教育訓練を実施しているか？）

1)	<p>評価結果</p> <p>☒ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。</p> <p>☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p>☐ 多くの改善すべき問題がある。</p>
2)	<p>自己点検の対象とした資料</p> <p>「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」、「動物実験教育訓練開催報告書」、「動物実験室利用マニュアル」</p>
3)	<p>評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）</p> <p>教育訓練は、「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」に即して適正に実施されているため。なお、教育訓練を実施する際には、DVD 等も活用し、教育訓練を受けた者が当該年度の動物実験を行うことができることになっている。また、日本語がわからない留学生のために英語教材を用意しており、留学生の教育訓練に利用している。</p>
4)	<p>改善の方針</p> <p>教育訓練内容のより一層の充実化を図るため、今後も使用教材の見直し等を検討する。</p>

7. 自己点検・評価・情報公開

（基本指針への適合性に関する自己点検・評価、関連事項の情報公開を実施しているか？）

1)	<p>評価結果</p> <p>☒ 基本指針に適合し、適正に実施されている。</p> <p>☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p>☐ 多くの改善すべき問題がある。</p>
2)	<p>自己点検の対象とした資料</p> <p>(1) 自己点検・評価・・・平成 22～28 年度自己点検・評価報告書については、埼玉大学のホームページにおいて情報公開済みである。本自己点検・評価報告書（平成 29 年度）についても、情報公開を予定している。</p> <p>(2) 関連事項の情報公開・・・「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」、「各種様式」、「平成 21～29 年度実績」、「埼玉大学動物実験委員会名簿」、「学外者による検証（外部評価）」については、埼玉大学のホームページにおいて情報公開をしている。</p>
3)	<p>評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>上記の情報公開がなされているため。</p>
4)	<p>改善の方針</p> <p>特になし。</p>

8. その他

(動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果)

特になし。

平成30年度
動物実験に関する自己点検・評価報告書

埼玉大学 動物実験委員会

令和元年10月

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

1) 評価結果
☒ 基本指針に適合する機関内規程が定められている。 ☐ 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 機関内規程が定められていない。
2) 自己点検の対象とした資料
「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」、「動物飼育室の利用マニュアル」、「両生類及び魚類を使用する動物実験に関する申合せ」、「動物実験計画書における実験実施期間の取り扱いについて」、「埼玉大学における災害対応マニュアル（実験動物関連）」、「発がん物質等危険物質を用いた動物実験に関する申合せ」
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）
「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」（平成19年8月制定）が適正に定められているため。
4) 改善の方針
特になし。

2. 動物実験委員会

1) 評価結果
☒ 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。 ☐ 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 動物実験委員会は置かれていない。
2) 自己点検の対象とした資料
「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」、「埼玉大学動物実験委員会名簿」
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）
「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」に即して動物実験委員会が置かれているため。
4) 改善の方針
特になし。

3. 動物実験の実施体制

（動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告の実施体制が定められているか？）

1) 評価結果
☒ 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。 ☐ 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 動物実験の実施体制が定められていない。
2) 自己点検の対象とした資料
「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」、「動物実験計画書」、「動物実験（変更・追加）承認申請書」、「動物実験（終了・中止）報告書」、「飼養保管施設設置承認申請書」、「実験室設置承認申請書」、「施設等（飼養保管施設・動物実験室）廃止届」、「飼養保管状況報告書」

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」に動物実験の実施体制等が定められているため。
4) 改善の方針 特になし。

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

（遺伝子組換え動物実験、感染動物実験等の実施体制が定められているか？）

1) 評価結果 ☐ 該当する動物実験の実施体制が定められている。 ☒ 該当する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 該当する動物実験の実施体制が定められていない。 ☐ 該当する動物実験は、行われていない。
2) 自己点検の対象とした資料 「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」、「国立大学法人埼玉大学遺伝子組換え実験実施規則」、 「国立大学法人埼玉大学放射線障害予防規則」、「発がん物質等危険物質を用いた動物実験に関する申合せ」
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 遺伝子組換えを伴う動物実験では、動物実験計画書の承認に先立ち、遺伝子組換え実験安全委員会の承認を必要としており、適正に実施されている。病原体等を扱う動物実験については、本学ではこれまでに実施されていないため、関連するルール等は定められていない。今後実施する可能性も考慮し、ルールの制定について検討する必要がある。
4) 改善の方針 安全管理に注意を要する動物実験の取扱いに関するルール等の制定を引き続き検討する。

5. 実験動物の飼養保管の体制

（機関内における実験動物の飼養保管施設が把握され、各施設に実験動物管理者が置かれているか？）

1) 評価結果 ☒ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 「飼養保管施設設置承認申請書」、「実験室設置承認申請書」、「動物飼育室の利用マニュアル」、「埼玉大学における災害対応マニュアル（実験動物関連）」
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 動物実験委員会では、「飼養保管施設設置承認申請書」によって申請された飼養保管施設について審査を行い承認する体制をとっているため。なお、各施設の申請書内には実験動物管理者を記載することになっている。飼養保管施設毎に「動物飼育室の利用マニュアル」を定め、利用者には教育訓練にて内容を説明し、マニュアルに基づき運用することを徹底している。また、「埼玉大学における災害対応マニュアル（実験動物関連）」では、緊急時における対応方法を定めている。
4) 改善の方針 飼養保管施設や実験室設置に関する判断基準等の明文化について、委員会で作成した案を元に、引き続き検討を行う。

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

特になし。

II. 実施状況

1. 動物実験委員会

（動物実験委員会は、機関内規程に定めた機能を果たしているか？）

1) 評価結果
☒ 基本指針に適合し、適正に機能している。
☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料
(1) 動物実験委員会の開催日時及び審議内容の記録
(2) 「動物実験計画書」、「動物実験（変更・追加）承認申請書」、「動物実験（終了・中止）報告書」、「飼養保管施設設置承認申請書」、「実験室設置承認申請書」、「飼養保管状況報告書」の調査・審議内容の記録
(3) 動物実験教育訓練開催報告書
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）
上記の審議等は「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」に即して行い、議事録についても、適切に保管され、メール審議の際、各委員からのコメントを委員全員が閲覧し共有する体制も整っている。
4) 改善の方針
特になし。

2. 動物実験の実施状況

（動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告が実施されているか？）

1) 評価結果
☒ 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。
☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料
(1) 「動物実験計画書」、「動物実験（変更・追加）承認申請書」、「動物実験（終了・中止）報告書」
(2) 「動物実験計画書」に対する動物実験委員会での審査内容の記録
(3) 動物実験より得られた成績（論文）の報告書
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）
各実験責任者から一年ごとに報告を徴収して委員会にて実施状況を確認しており、「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」に即して適正に実施されている。
4) 改善方針
動物実験報告書を改正したため、今後の運用により更なる改善点が判明した場合は改正を検討する。

3. 安全管理を要する動物実験の実施状況

(当該実験が安全に実施されているか?)

1) 評価結果 ☒ 該当する動物実験が適正に実施されている。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。 ☐ 該当する動物実験は、行われていない。
2) 自己点検の対象とした資料 (安全管理上の事故等があれば、事故記録を対象とする) 「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」、「国立大学法人埼玉大学遺伝子組換え実験実施規則」、「発がん物質等危険物質を用いた動物実験に関する申合せ」、「動物実験計画書」、「動物実験 (終了・中止) 報告書」、「飼養保管施設設置承認申請書」、「実験室設置承認申請書」
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。) 遺伝子組換え実験安全委員会との連携のもと本学の規則に即して実験が実施されており、問題となるケースは見受けられなかったため。また、発がん物質等危険物質を用いた動物実験についても申合せに即して実験が実施された。なお、病原体等を扱う動物実験については、本学ではこれまでに実施されていない。
4) 改善の方針 動物逸走時の連絡体制・その周知方法を検討する。

4. 実験動物の飼養保管状況

(実験動物管理者の活動は適切か。飼養保管は飼養保管手順書等により適正に実施されているか?)

1) 評価結果 ☒ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」、「動物実験計画書」、「動物飼育室の利用マニュアル」
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。) 基本指針や「動物飼育室の利用マニュアル」に即して実施されており、平成 30 年度は微生物学的清浄度の把握のため、微生物モニタリングを実施した。
4) 改善の方針 定期的な微生物モニタリングの実施のため、今後も引き続き予算の措置を検討する。

5. 施設等の維持管理の状況

(機関内の飼養保管施設は適正な維持管理が実施されているか。修理等の必要な施設や設備に、改善計画は立てられているか?)

1) 評価結果 ☐ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に維持管理されている。 ☒ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 「動物飼育室の利用マニュアル」、「(第一種圧力容器) 検査証」

3)	<p>評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>動物飼育室を管理する科学分析支援センターにて、機器設備の更新計画や運用等の具体について検討し、動物実験委員会にて飼養保管施設の適正な維持管理に向けた取り組みを進めている。担当教員（動物実験管理者、飼養者等）は各飼養保管施設の状況確認等を行っているが、動物実験委員会としての定期的な調査・視察等は制度化されていないため、検討を行う必要がある。</p>
4)	<p>改善の方針</p> <p>飼養保管施設の調査・視察等を委員会の定例的な業務として制度化することを検討する。</p>

6. 教育訓練の実施状況

（実験動物管理者、動物実験実施者、飼養者等に対する教育訓練を実施しているか？）

1)	<p>評価結果</p> <p>☒ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。</p> <p>☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p>☐ 多くの改善すべき問題がある。</p>
2)	<p>自己点検の対象とした資料</p> <p>「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」、「動物実験教育訓練開催報告書」、「動物実験室利用マニュアル」</p>
3)	<p>評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）</p> <p>教育訓練は、「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」に即して適正に実施されているため。なお、教育訓練を実施する際には、DVD 等も活用し、教育訓練を受けた者が当該年度の動物実験を行うことができることになっている。また、日本語がわからない留学生のために英語教材を用意しており、留学生の教育訓練に利用している。</p>
4)	<p>改善の方針</p> <p>教育訓練内容のより一層の充実化を図るため、今後も使用教材の見直し等を検討する。</p>

7. 自己点検・評価・情報公開

（基本指針への適合性に関する自己点検・評価、関連事項の情報公開を実施しているか？）

1)	<p>評価結果</p> <p>☒ 基本指針に適合し、適正に実施されている。</p> <p>☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p>☐ 多くの改善すべき問題がある。</p>
2)	<p>自己点検の対象とした資料</p> <p>(1) 自己点検・評価・・・平成 22～29 年度自己点検・評価報告書については、埼玉大学のホームページにおいて情報公開済みである。本自己点検・評価報告書（平成 30 年度）についても、情報公開を予定している。</p> <p>(2) 関連事項の情報公開・・・「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」、「各種様式」、「平成 21～30 年度実績」、「埼玉大学動物実験委員会名簿」、「学外者による検証（外部評価）」については、埼玉大学のホームページにおいて情報公開をしている。</p>
3)	<p>評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>上記の情報公開がなされているため。</p>
4)	<p>改善の方針</p> <p>特になし。</p>

8. その他

(動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果)

特になし。

平成31年・令和元年度
動物実験に関する自己点検・評価報告書

埼玉大学 動物実験委員会

令和2年10月

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

1) 評価結果
☒ 基本指針に適合する機関内規程が定められている。 ☐ 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 機関内規程が定められていない。
2) 自己点検の対象とした資料
「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」、「動物飼育室の利用マニュアル」、「両生類及び魚類を使用する動物実験等に関する申合せ」、「動物実験計画書における実験実施期間の取り扱いについて」、「埼玉大学における災害対応マニュアル（実験動物関連）」、「発がん物質等危険物質を用いた動物実験に関する申合せ」
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）
「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」（平成19年8月制定）が適正に定められているため。
4) 改善の方針
特になし。

2. 動物実験委員会

1) 評価結果
☒ 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。 ☐ 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 動物実験委員会は置かれていない。
2) 自己点検の対象とした資料
「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」、「埼玉大学動物実験委員会名簿」
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）
「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」に即して動物実験委員会が置かれているため。
4) 改善の方針
特になし。

3. 動物実験の実施体制

（動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告の実施体制が定められているか？）

1) 評価結果
☒ 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。 ☐ 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 動物実験の実施体制が定められていない。
2) 自己点検の対象とした資料
「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」、「動物実験計画書」、「動物実験（変更・追加）承認申請書」、「動物実験報告書」、「飼養保管施設設置承認申請書」、「実験室設置承認申請書」、「施設等（飼養保管施設・動物実験室）廃止届」、「飼養保管状況報告書」

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」に動物実験の実施体制等が定められているため。
4) 改善の方針 特になし。

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

（遺伝子組換え動物実験、感染動物実験等の実施体制が定められているか？）

1) 評価結果 ☐ 該当する動物実験の実施体制が定められている。 ☒ 該当する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 該当する動物実験の実施体制が定められていない。 ☐ 該当する動物実験は、行われていない。
2) 自己点検の対象とした資料 「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」、「国立大学法人埼玉大学遺伝子組換え実験実施規則」、 「国立大学法人埼玉大学放射線障害予防規則」、「発がん物質等危険物質を用いた動物実験に関する申合せ」
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 遺伝子組換えを伴う動物実験では、動物実験計画書の承認に先立ち、遺伝子組換え実験安全委員会の承認を必要としており、適正に実施されている。病原体等を扱う動物実験については、本学ではこれまでに実施されていないため、関連するルール等は定められていない。今後実施する可能性も考慮し、ルールの制定について検討する必要がある。
4) 改善の方針 安全管理に注意を要する動物実験の取扱いに関するルール等の制定を引き続き検討する。

5. 実験動物の飼養保管の体制

（機関内における実験動物の飼養保管施設が把握され、各施設に実験動物管理者が置かれているか？）

1) 評価結果 ☒ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 「飼養保管施設設置承認申請書」、「実験室設置承認申請書」、「動物飼育室の利用マニュアル」、「埼玉大学における災害対応マニュアル（実験動物関連）」、「動物の逸走・感染症等発生時連絡網」
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 動物実験委員会では、「飼養保管施設設置承認申請書」によって申請された飼養保管施設について審査を行い承認する体制をとっているため。なお、各施設の申請書内には実験動物管理者を記載することになっている。飼養保管施設毎に「動物飼育室の利用マニュアル」を定め、利用者には教育訓練にて内容を説明し、マニュアルに基づき運用することを徹底している。また、「埼玉大学における災害対応マニュアル（実験動物関連）」では、緊急時における対応方法を定めている。また、動物の逸走や人獣共通感染症への感染などの事案が発生した場合の連絡体制を構築した。

4) 改善の方針

飼養保管施設や実験室設置に関する判断基準等の明文化について、委員会で作成した案を元に、引き続き検討を行う。

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

特になし。

II. 実施状況

1. 動物実験委員会

（動物実験委員会は、機関内規程に定めた機能を果たしているか？）

1) 評価結果

- 基本指針に適合し、適正に機能している。
 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

- (1) 動物実験委員会の開催日時及び審議内容の記録
(2) 「動物実験計画書」、「動物実験（変更・追加）承認申請書」、「動物実験報告書」、「飼養保管施設設置承認申請書」、「実験室設置承認申請書」、「飼養保管状況報告書」の調査・審議内容の記録
(3) 動物実験教育訓練開催報告書

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

上記の審議等は「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」に即して行い、議事録についても、適切に保管され、メール審議の際、各委員からのコメントを委員全員が閲覧し共有する体制も整っている。

4) 改善の方針

特になし。

2. 動物実験の実施状況

（動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告が実施されているか？）

1) 評価結果

- 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。
 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

- (1) 「動物実験計画書」、「動物実験（変更・追加）承認申請書」、「動物実験報告書」
(2) 「動物実験計画書」に対する動物実験委員会での審査内容の記録
(3) 動物実験より得られた成績（論文）の報告書

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

各実験責任者から一年ごとに報告を徴収して委員会にて実施状況を確認しており、「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」に即して適正に実施されている。

4) 改善方針

動物実験報告書を改正したため、今後の運用により更なる改善点が判明した場合は改正を検討する。

3. 安全管理を要する動物実験の実施状況

(当該実験が安全に実施されているか?)

1) 評価結果 ☒ 該当する動物実験が適正に実施されている。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。 ☐ 該当する動物実験は、行われていない。
2) 自己点検の対象とした資料 (安全管理上の事故等があれば、事故記録を対象とする) 「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」、「国立大学法人埼玉大学遺伝子組換え実験実施規則」、「発がん物質等危険物質を用いた動物実験に関する申合せ」、「動物実験計画書」、「動物実験報告書」、「飼養保管施設設置承認申請書」、「実験室設置承認申請書」
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。) 遺伝子組換え実験安全委員会との連携のもと本学の規則に即して実験が実施されており、問題となるケースは見受けられなかった。発がん物質等危険物質を用いた動物実験については今年度実施されず、病原体等を扱う動物実験については本学ではこれまでに実施されていない。
4) 改善の方針 特になし。

4. 実験動物の飼養保管状況

(実験動物管理者の活動は適切か。飼養保管は飼養保管手順書等により適正に実施されているか?)

1) 評価結果 ☒ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」、「動物実験計画書」、「動物飼育室の利用マニュアル」
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。) 基本指針や「動物飼育室の利用マニュアル」に即して実施されており、平成 31 年・令和元年度は微生物学的清浄度の把握のため、微生物モニタリングを実施した。
4) 改善の方針 定期的な微生物モニタリングの実施のため、今後も引き続き予算の措置を検討する。

5. 施設等の維持管理の状況

(機関内の飼養保管施設は適正な維持管理が実施されているか。修理等の必要な施設や設備に、改善計画は立てられているか?)

1) 評価結果 ☒ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に維持管理されている。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
--

2)	自己点検の対象とした資料 「動物飼育室の利用マニュアル」、「令和元年度動物飼養保管施設の定期視察結果について」、 「(第一種圧力容器) 検査証」
3)	評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。) 動物飼育室を管理する科学分析支援センターにて、機器設備の更新計画や運用等の具体について検討し、動物実験委員会にて飼養保管施設の適正な維持管理に向けた取り組みを進めている。担当教員 (動物実験管理者、飼養者等) による各飼養保管施設の状況確認等を行っている。また、今年度から実施した動物実験委員会による飼養保管施設の定期視察の結果、緊急に改善すべき点は見受けられず、適正に維持管理されている。
4)	改善の方針 特になし。

6. 教育訓練の実施状況

(実験動物管理者、動物実験実施者、飼養者等に対する教育訓練を実施しているか?)

1)	評価結果 ☒ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2)	自己点検の対象とした資料 「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」、「動物実験教育訓練開催報告書」、「動物実験室利用マニュアル」
3)	評価結果の判断理由 (改善すべき点があれば、明記する。) 教育訓練は、「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」に即して適正に実施されているため。なお、教育訓練を実施する際には、DVD 等も活用し、教育訓練を受けた者が当該年度の動物実験を行うことができることになっている。また、日本語がわからない留学生のために英語教材を用意しており、留学生の教育訓練に利用している。
4)	改善の方針 教育訓練内容のより一層の充実化を図るため、今後も使用教材の見直し等を検討する。

7. 自己点検・評価・情報公開

(基本指針への適合性に関する自己点検・評価、関連事項の情報公開を実施しているか?)

1)	評価結果 ☒ 基本指針に適合し、適正に実施されている。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2)	自己点検の対象とした資料 (1) 自己点検・評価・・・平成 22～30 年度自己点検・評価報告書については、埼玉大学のホームページにおいて情報公開済みである。本自己点検・評価報告書 (平成 31 年・令和元年度) についても、情報公開を予定している。 (2) 関連事項の情報公開・・・「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」、「各種様式」、「平成 21～令和元年度実績」、「埼玉大学動物実験委員会名簿」、「学外者による検証 (外部評価)」については、埼玉大学のホームページにおいて情報公開をしている。

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）
上記の情報公開がなされているため。

4) 改善の方針
特になし。

8. その他

(動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果)

特になし。

令和2年度

動物実験に関する自己点検・評価報告書

埼玉大学 動物実験委員会

令和3年7月

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合する機関内規程を定めている。 ☐ 機関内規程を定めているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 機関内規程を定めていない。
2) 自己点検の対象とした資料 「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」、「動物飼育室の利用マニュアル」、「両生類及び魚類を使用する動物実験等に関する申合せ」、「動物実験計画書における実験実施期間の取り扱いについて」、「埼玉大学における災害対応マニュアル(実験動物関連)」、「発がん物質等危険物質を用いた動物実験に関する申合せ」
3) 評価結果の判断理由(改善すべき点があれば、明記する。) 「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」(平成19年8月制定)が適正に定められているため。
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし。

2. 動物実験委員会

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合する動物実験委員会を設置している。 ☐ 動物実験委員会を設置しているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 動物実験委員会を設置していない。
2) 自己点検の対象とした資料 「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」、「埼玉大学動物実験委員会名簿」
3) 評価結果の判断理由(改善すべき点があれば、明記する。) 「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」に即して動物実験委員会が置かれているため。
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし。

3. 動物実験の実施体制

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、動物実験の実施体制を定めている。 ☐ 動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 動物実験の実施体制を定めていない。
2) 自己点検の対象とした資料 「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」、「動物実験計画書」、「動物実験(変更・追加)承認申請書」、

「動物実験報告書」、「飼養保管施設設置承認申請書」、「実験室設置承認申請書」、 「施設等（飼養保管施設・動物実験室）廃止届」、「飼養保管状況報告書」
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」に動物実験の実施体制等が定められているため。
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし。

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

1) 評価結果 ☐ 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めている。 ☒ 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めていない。 ☐ 該当する動物実験を行っていないので、実施体制を定めていない。
2) 自己点検の対象とした資料 「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」、「国立大学法人埼玉大学遺伝子組換え実験実施規則」、 「国立大学法人埼玉大学放射線障害予防規則」、「発がん物質等危険物質を用いた動物実験に関する申合せ」
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 遺伝子組換えを伴う動物実験では、動物実験計画書の承認に先立ち、遺伝子組換え実験安全委員会の承認を必要としており、適正に実施されている。病原体等を扱う動物実験については、本学ではこれまでに実施されていないため、関連するルール等は定められていない。今後実施する可能性も考慮し、ルールの制定について検討する必要がある。
4) 改善の方針、達成予定時期 安全管理に注意を要する動物実験の取扱いに関するルール等の制定を引き続き検討する。

5. 実験動物の飼養保管の体制

1) 評価結果 ☒ 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 「飼養保管施設設置承認申請書」、「実験室設置承認申請書」、「動物飼育室の利用マニュアル」、「埼玉大学における災害対応マニュアル（実験動物関連）」、「動物の逸走・感染症等発生時連絡網」
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 動物実験委員会では、「飼養保管施設設置承認申請書」によって申請された飼養保管施設について審査を行い承認する体制をとっているため。なお、各施設の申請書内には実験動物管理者を記載すること

になっている。飼養保管施設毎に「動物飼育室の利用マニュアル」を定め、利用者には教育訓練にて内容を説明し、マニュアルに基づき運用することを徹底している。また、「埼玉大学における災害対応マニュアル（実験動物関連）」では、緊急時における対応方法を定めている。また、動物の逸走や人獣共通感染症への感染などの事案が発生した場合の連絡体制を構築している。

4) 改善の方針、達成予定時期

飼養保管施設や実験室設置に関する判断基準等の明文化について、委員会で作成した案を元に、引き続き検討を行う。

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

特になし。

II. 実施状況

1. 動物実験委員会

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、適正に機能している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 (1) 動物実験委員会の開催日時及び審議内容の記録 (2) 「動物実験計画書」、「動物実験（変更・追加）承認申請書」、「動物実験報告書」、 「飼養保管施設設置承認申請書」、「実験室設置承認申請書」、「施設等（飼養保管施設・動物実験 室）廃止届」、「飼養保管状況報告書」の調査・審議内容の記録 (3) 動物実験教育訓練開催報告書
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 上記の審議等は「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」に即して行い、議事録についても、適切に保 管され、メール審議の際、各委員からのコメントを委員全員が閲覧し共有する体制も整っている。
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし。

2. 動物実験の実施状況

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、適正に動物実験を実施している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 (1) 「動物実験計画書」、「動物実験（変更・追加）承認申請書」、「動物実験報告書」 (2) 「動物実験計画書」に対する動物実験委員会での審査内容の記録 (3) 動物実験より得られた成績（論文）の報告書
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 各実験責任者から一年ごとに報告を徴収して委員会にて実施状況を確認しており、「国立大学法人埼 玉大学動物実験規則」に即して適正に実施されている。
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし。

3. 安全管理に注意を要する動物実験の実施状況

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、当該実験を適正に実施している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。 ☐ 該当する動物実験を行っていない。
2) 自己点検の対象とした資料 「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」、「国立大学法人埼玉大学遺伝子組換え実験実施規則」、「発がん物質等危険物質を用いた動物実験に関する申合せ」、「動物実験計画書」、「動物実験報告書」、「飼養保管施設設置承認申請書」、「実験室設置承認申請書」
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 遺伝子組換え実験安全委員会との連携のもと本学の規則に即して実験が実施されており、問題となるケースは見受けられなかった。発がん物質等危険物質を用いた動物実験については今年度実施されず、病原体等を扱う動物実験については本学ではこれまでに実施されていない。
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし。

4. 実験動物の飼養保管状況

1) 評価結果 ☒ 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」、「動物実験計画書」、「動物飼育室の利用マニュアル」
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 基本指針や「動物飼育室の利用マニュアル」に即して実施されており、令和2年度は微生物学的清浄度の把握のため、微生物モニタリングを実施した。
4) 改善の方針、達成予定時期 定期的な微生物モニタリングの実施のため、今後も引き続き予算の措置を検討する。

5. 施設等の維持管理の状況

1) 評価結果 ☒ 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に維持管理している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 「動物飼育室の利用マニュアル」、「令和2年度動物飼養保管施設の定期視察結果について」、 「(第一種圧力容器) 検査証」
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。) 動物飼育室を管理する科学分析支援センターにて、機器設備の更新計画や運用等の具体について検討し、動物実験委員会にて飼養保管施設の適正な維持管理に向けた取り組みを進めている。担当教員(動物実験管理者、飼養者等)による各飼養保管施設の状況確認等を行っている。また、動物実験委員会による飼養保管施設の定期視察の結果、緊急に改善すべき点は見受けられず、適正に維持管理されている。
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし。

6. 教育訓練の実施状況

1) 評価結果 ☒ 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」、「動物実験教育訓練開催報告書」、「動物実験室利用マニュアル」
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。) 教育訓練は、「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」に即して適正に実施されているため。令和2年度はオンライン形式により実施し、教育訓練を受けた者が当該年度(年度末に実施したものは次年度)の動物実験を行うことができることになっている。
4) 改善の方針、達成予定時期 教育訓練内容のより一層の充実化を図るため、今後も使用教材の見直し等を検討する。

7. 自己点検・評価、情報公開

1) 評価結果 ☒ 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 (1) 自己点検・評価・・・平成 22～31・令和元年度自己点検・評価報告書については、埼玉大学のホームページにおいて情報公開済みである。本自己点検・評価報告書（令和 2 年度）についても、情報公開を予定している。 (2) 関連事項の情報公開・・・「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」、「各種様式」、「平成 21～令和 2 年度実績」、「埼玉大学動物実験委員会名簿」、「学外者による検証（外部評価）」については、埼玉大学のホームページにおいて情報公開をしている。
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 上記の情報公開がなされているため。
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし。

8. その他

（動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果）

特になし。

令和3年度

動物実験に関する自己点検・評価報告書

国立大学法人埼玉大学

令和4年7月

1. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

1) 評価結果 ■ 基本指針に適合する機関内規程を定めている。 □ 機関内規程を定めているが、一部に改善すべき点がある。 □ 機関内規程を定めていない。
2) 自己点検の対象とした資料 「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」、「動物飼育室の利用マニュアル」、「動物実験計画書における実験実施期間の取り扱いについて」、「埼玉大学における災害対応マニュアル(実験動物関連)」、「両生類及び魚類を使用する動物実験等に関する申合せ」、「発がん物質等危険物質を用いた動物実験に関する申合せ」
3) 評価結果の判断理由(改善すべき点があれば、明記する。) 環境省の「実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準」(以下「飼養保管基準」という。)、文部科学省の「研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針」(以下「基本指針」という。)等に則って、「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」(平成19年8月制定)が適正に定められているため。
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし。

2. 動物実験委員会

1) 評価結果 ■ 基本指針に適合する動物実験委員会を設置している。 □ 動物実験委員会を設置しているが、一部に改善すべき点がある。 □ 動物実験委員会を設置していない。
2) 自己点検の対象とした資料 「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」、「埼玉大学動物実験委員会名簿」
3) 評価結果の判断理由(改善すべき点があれば、明記する。) 飼養保管基準及び基本指針に適合した動物実験委員会が置かれているため。
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし。

3. 動物実験の実施体制

1) 評価結果 ■ 基本指針に適合し、動物実験の実施体制を定めている。 □ 動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。 □ 動物実験の実施体制を定めていない。
2) 自己点検の対象とした資料 「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」、「動物実験計画書」、「動物実験（変更・追加）承認申請書」、「動物実験報告書」、「飼養保管施設設置承認申請書」、「実験室設置承認申請書」、「施設等（飼養保管施設・動物実験室）廃止届」、「飼養保管状況報告書」
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」に動物実験の実施体制等が定められているため。
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし。

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

1) 評価結果 ■ 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めている。 □ 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。 □ 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めていない。 □ 該当する動物実験を行っていないので、実施体制を定めていない。
2) 自己点検の対象とした資料 「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」、「国立大学法人埼玉大学遺伝子組換え実験実施規則」、「国立大学法人埼玉大学放射線障害予防規則」、「発がん物質等危険物質を用いた動物実験に関する申合せ」
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 遺伝子組換えを伴う動物実験では、動物実験計画書の承認と併せて、遺伝子組換え実験安全委員会の承認を必要としており、適正に実施されている。病原体等を扱う動物実験については、本学は医学部がないため規則化するレベルではないと判断し、現在まで未対応となっている。申請された計画は、国の指針等に即して対応。
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし。

5. 実験動物の飼養保管の体制

<p>1) 評価結果</p> <ul style="list-style-type: none">☒ 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。☐ 多くの改善すべき問題がある。
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>「飼養保管施設設置承認申請書」、「実験室設置承認申請書」、「動物飼育室の利用マニュアル」、「埼玉大学における災害対応マニュアル(実験動物関連)」、「動物の逸走・感染症等発生時連絡網」、「定期視察結果」</p>
<p>3) 評価結果の判断理由(改善すべき点や問題があれば、明記する。)</p> <p>動物実験委員会では、「飼養保管施設設置承認申請書」によって申請された飼養保管施設について審査を行い承認する体制をとっている。また、定期的な視察により飼養保管施設の点検を行っている。飼養保管施設毎に「動物飼育室の利用マニュアル」を定め、利用者には教育訓練にて内容を説明し、マニュアルに基づき運用することを徹底している。また、「埼玉大学における災害対応マニュアル(実験動物関連)」では、緊急時における対応方法を定めている。また、動物の逸走や人獣共通感染症への感染などの事案が発生した場合の連絡体制を構築した。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>令和4年度中に実験動物飼養保管状況の自己点検票により学長へ飼養状況を報告することを規則に規定するとともに、定期的な飼育施設の視察による点検も継続していく。</p>

6. その他(動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果)

<p>特になし。</p>

II. 実施状況

1. 動物実験委員会の活動状況

1) 評価結果 ■ 基本指針に適合し、適正に機能している。 □ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 (1) 動物実験委員会の開催日時及び審議内容の記録 (2) 「動物実験計画書」、「動物実験(変更・追加)承認申請書」、「動物実験報告書」、 「飼養保管施設設置承認申請書」、「実験室設置承認申請書」、「施設等(飼養保管施設・動物実験室)廃止届」、「飼養保管状況報告書」の調査・審議内容の記録 (3) 動物実験教育訓練開催報告書
3) 評価結果の判断理由(改善すべき点や問題があれば、明記する。) 上記の審議等は「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」に即して行い、議事録についても、適切に保管され、メール審議の際、各委員からのコメントを委員全員が閲覧し共有する体制も整っている。
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし。

2. 動物実験の実施状況

1) 評価結果 ■ 基本指針に適合し、適正に動物実験を実施している。 □ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 (1) 「動物実験計画書」、「動物実験(変更・追加)承認申請書」、「動物実験報告書」 (2) 上記に対する動物実験委員会での審査内容の記録
3) 評価結果の判断理由(改善すべき点や問題があれば、明記する。) 各実験責任者から一年ごとに報告を徴収して委員会にて実施状況を確認しており、「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」に即して適正に実施されている。
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし。

3. 安全管理に注意を要する動物実験の実施状況

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、当該実験を適正に実施している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。 ☐ 該当する動物実験を行っていない。
2) 自己点検の対象とした資料 「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」、「国立大学法人埼玉大学遺伝子組換え実験実施規則」、「発がん物質等危険物質を用いた動物実験に関する申合せ」、「動物実験計画書」、「動物実験報告書」、「飼養保管施設設置承認申請書」、「実験室設置承認申請書」
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 遺伝子組換え実験安全委員会との連携のもと本学の規則に即して実験が実施されており、大きな問題となるケースは見受けられなかった。病原体等を扱う動物実験については本学では令和3年度から初めて実施されているが、国の指針に基づき実験を行っているため。
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし。

4. 実験動物の飼養保管状況

1) 評価結果 ☒ 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」、「動物実験計画書」、「動物飼育室の利用マニュアル」
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 基本指針や「動物飼育室の利用マニュアル」に即して実施されており、令和3年度は微生物学的清浄度の把握のため、微生物モニタリングを実施した。
4) 改善の方針、達成予定時期 定期的な微生物モニタリング実施のため、今後も引き続き予算措置を検討する。

5. 施設等の維持管理の状況

1) 評価結果 ☒ 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に維持管理している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 「動物飼育室の利用マニュアル」、「令和3年度動物飼養保管施設の定期視察結果について」、 「(第一種圧力容器) 検査証」
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。) 動物飼育室を管理する科学分析支援センターにて、機器設備の更新計画や運用等の具体について検討し、動物実験委員会にて飼養保管施設の適正な維持管理に向けた取り組みを進めている。担当教員(動物実験管理者、飼養者等)による各飼養保管施設の状況確認等を行っている。また、動物実験委員会による飼養保管施設の定期視察の結果、緊急に改善すべき点は見受けられず、適正に維持管理されている。
4) 改善の方針、達成予定時期 令和4年度中に実験動物飼養保管状況の自己点検票を設け、各動物飼育責任者が定期的な点検を行う体制を明文化する。

6. 教育訓練の実施状況

1) 評価結果 ☐ 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 ☒ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」、「動物実験教育訓練開催報告書」、「動物実験室利用マニュアル」
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。) 教育訓練は、「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」に即して概ね適正に実施されているため。ただし、人獣共通感染症にかかる内容は現時点で未実施であり、補完する必要があるため。なお、人獣共通感染症にかかる内容を除き、令和3年度はオンライン形式により実施、教育訓練を受けた者が当該年度(年度末に実施したものは次年度)の動物実験を行った。
4) 改善の方針、達成予定時期 令和4年度に、他機関の専門家に依頼し人獣共通感染症に関するセミナーを開催、セミナーから得られた情報を用いて本学の教育訓練内容に反映させる予定。 また、教育訓練内容のより一層の充実化を図るため、今後も使用教材の見直し等を検討する。

7. 自己点検・評価、情報公開

<p>1) 評価結果</p> <p>☒ 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。</p> <p>☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p>☐ 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>(1) 自己点検・評価・・・平成 22～令和 2 年度自己点検・評価報告書については、埼玉大学のホームページにおいて情報公開済みである。本自己点検・評価報告書（令和 3 年度）についても、情報公開を予定している。</p> <p>(2) 関連事項の情報公開・・・「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」、「各種様式」、「平成 21～令和 3 年度実績」、「埼玉大学動物実験委員会名簿」、「学外者による検証（外部評価）」については、埼玉大学のホームページにおいて情報公開をしている。</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>上記の情報公開がなされているため。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>特になし。</p>

8. その他

（動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果）

<p>特になし。</p>

令和4年度

動物実験に関する自己点検・評価報告書

国立大学法人埼玉大学

令和5年5月

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

1) 評価結果 ■ 基本指針に適合する機関内規程を定めている。 □ 機関内規程を定めているが、一部に改善すべき点がある。 □ 機関内規程を定めていない。
2) 自己点検の対象とした資料 「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」、「動物飼育室の利用マニュアル」、「動物実験計画書における実験実施期間の取り扱いについて」、「埼玉大学における災害対応マニュアル(実験動物関連)」、「両生類及び魚類を使用する動物実験等に関する申合せ」、「発がん物質等危険物質を用いた動物実験に関する申合せ」
3) 評価結果の判断理由(改善すべき点があれば、明記する。) 環境省の「実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準」(以下「飼養保管基準」という。)、文部科学省の「研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針」(以下「基本指針」という。)等に則って、「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」(平成19年8月制定)が適正に定められているため。
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし。

2. 動物実験委員会

1) 評価結果 ■ 基本指針に適合する動物実験委員会を設置している。 □ 動物実験委員会を設置しているが、一部に改善すべき点がある。 □ 動物実験委員会を設置していない。
2) 自己点検の対象とした資料 「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」、「埼玉大学動物実験委員会名簿」
3) 評価結果の判断理由(改善すべき点があれば、明記する。) 飼養保管基準及び基本指針に適合した動物実験委員会が置かれているため。
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし。

3. 動物実験の実施体制

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、動物実験の実施体制を定めている。 ☐ 動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 動物実験の実施体制を定めていない。
2) 自己点検の対象とした資料 「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」、「動物実験計画書」、「動物実験（変更・追加）承認申請書」、「動物実験報告書」、「飼養保管施設設置承認申請書」、「実験室設置承認申請書」、「施設等（飼養保管施設・動物実験室）廃止届」、「飼養保管状況報告書」
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」に動物実験の実施体制等が定められているため。
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし。

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

1) 評価結果 ☐ 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めている。 ☒ 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めていない。 ☐ 該当する動物実験を行っていないので、実施体制を定めていない。
2) 自己点検の対象とした資料 「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」、「国立大学法人埼玉大学遺伝子組換え実験実施規則」、「国立大学法人埼玉大学放射線障害予防規則」、「発がん物質等危険物質を用いた動物実験に関する申合せ」
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 遺伝子組換えを伴う動物実験では、動物実験計画書の承認と併せて、遺伝子組換え実験安全委員会の承認を必要としており、適正に実施されている。病原体等を扱う動物実験については、令和4年度に、動物実験に限るが申合せを策定し、適正に実施されるよう体制を整えた。
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし。

5. 実験動物の飼養保管の体制

<p>1) 評価結果</p> <p>☒ 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。</p> <p>☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p>☐ 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>「飼養保管施設設置承認申請書」、「実験室設置承認申請書」、「動物飼育室の利用マニュアル」、「埼玉大学における災害対応マニュアル（実験動物関連）」、「動物の逸走・感染症等発生時連絡網」、「定期視察結果」</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>動物実験委員会では、「飼養保管施設設置承認申請書」によって申請された飼養保管施設について審査を行い承認する体制をとっている。また、定期的な視察により飼養保管施設の点検を行っている。飼養保管施設毎に「動物飼育室の利用マニュアル」を定め、利用者には教育訓練にて内容を説明し、マニュアルに基づき運用することを徹底している。当該マニュアルについては、今後、より充実した内容になるよう、改善を続けていく。</p> <p>また、「埼玉大学における災害対応マニュアル（実験動物関連）」では、緊急時における対応方法を定めている。また、動物の逸走や人獣共通感染症への感染などの事案が発生した場合の連絡体制を構築した。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p>

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

<p>令和4年11月に受検した外部検証において指摘された改善事項について未対応・不十分であった点の対応に引き続き取り組む。</p>

II. 実施状況

1. 動物実験委員会の活動状況

1) 評価結果 ☐ 基本指針に適合し、適正に機能している。 ☒ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 (1) 動物実験委員会の開催日時及び審議内容の記録 (2) 「動物実験計画書」、「動物実験（変更・追加）承認申請書」、「動物実験報告書」、 「飼養保管施設設置承認申請書」、「実験室設置承認申請書」、「施設等（飼養保管施設・動物実験 室）廃止届」、「飼養保管状況報告書」の調査・審議内容の記録 (3) 動物実験教育訓練開催報告書
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 上記の審議等は「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」に即して行っている。議事録についても、適切に保管され、メール審議の際、各委員からのコメントを委員全員が閲覧し共有する体制も整っている。今後は、3Rの観点からより確実な実験計画の適切性を審査する体制を整える。
4) 改善の方針、達成予定時期 令和5年度中

2. 動物実験の実施状況

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、適正に動物実験を実施している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 (1) 「動物実験計画書」、「動物実験（変更・追加）承認申請書」、「動物実験報告書」 (2) 上記に対する動物実験委員会での審査内容の記録
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 各実験責任者から一年ごとに報告を徴収して委員会にて実施状況を確認しており、「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」に即して適正に実施されている。
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし。

3. 安全管理に注意を要する動物実験の実施状況

1) 評価結果 ☐ 基本指針に適合し、当該実験を適正に実施している。 ☒ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。 ☐ 該当する動物実験を行っていない。
2) 自己点検の対象とした資料 「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」、「国立大学法人埼玉大学遺伝子組換え実験実施規則」、「発がん物質等危険物質を用いた動物実験に関する申合せ」、「動物実験計画書」、「動物実験報告書」、「飼養保管施設設置承認申請書」、「実験室設置承認申請書」
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 遺伝子組換え実験安全委員会との連携のもと本学の規則に即して実験が実施されており、大きな問題となるケースは見受けられなかった。病原体等を扱う動物実験については、令和4年度に動物実験に限り申合せを策定し、安全管理の体制を整えた。当該申合せの改善を引き続き行う。
4) 改善の方針、達成予定時期 令和5年度中

4. 実験動物の飼養保管状況

1) 評価結果 ☐ 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 ☒ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」、「動物実験計画書」、「動物飼育室の利用マニュアル」
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 基本指針や「各種飼養保管施設の利用マニュアル」に即して実施されており、令和4年度は微生物学的清浄度の把握のため、微生物モニタリングを実施した。ただし、「各種飼養保管施設の利用マニュアル」については内容に不足がある。
4) 改善の方針、達成予定時期 「各種飼養保管施設の利用マニュアル」については内容に不足があるため、今後も引き続き充実するよう検討する。

5. 施設等の維持管理の状況

1) 評価結果 ☐ 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に維持管理している。 ☒ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 「動物飼育室の利用マニュアル」、「令和4年度動物飼養保管施設の定期視察結果について」、 「(第一種圧力容器) 検査証」
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。) 動物飼育室を管理する科学分析支援センターにて、機器設備の更新計画や運用等の具体について検討し、動物実験委員会にて飼養保管施設の適正な維持管理に向けた取り組みを進めている。担当教員(動物実験管理者、飼養者等)による各飼養保管施設の状況確認等を行っている。また、動物実験委員会による飼養保管施設の定期視察の結果、地震対策や逸走防止、飼育環境の点で改善すべき点が見受けられた。
4) 改善の方針、達成予定時期 令和5年度中に上記改善方法とその実施を検討する。

6. 教育訓練の実施状況

1) 評価結果 ☐ 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 ☒ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」、「動物実験教育訓練開催報告書」、「動物実験室利用マニュアル」
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。) 教育訓練は、「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」に即して概ね適正に実施されているため。ただし、人獣共通感染症にかかる内容は現時点で未実施であり、補完する必要があるため。なお、人獣共通感染症にかかる内容を除き、令和4年度はオンライン形式により実施、教育訓練を受けた者が当該年度(年度末に実施したものは次年度)の動物実験を行った。 また、令和4年度の実施分からは人獣共通感染症の項目を加えて実施した。
4) 改善の方針、達成予定時期 令和5年度中に、動物実験管理者について「実験動物管理者等研修会」への参加を求める。また、教育訓練内容のより一層の充実化を図るため、今後も使用教材の見直し等を検討する。

7. 自己点検・評価、情報公開

<p>1) 評価結果</p> <p>☒ 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。</p> <p>☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p>☐ 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>(1) 自己点検・評価・・・平成 22～令和 2 年度自己点検・評価報告書については、埼玉大学のホームページにおいて情報公開済みである。本自己点検・評価報告書（令和 3 年度）についても、情報公開を予定している。</p> <p>(2) 関連事項の情報公開・・・「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」、「各種様式」、「平成 21～令和 3 年度実績」、「埼玉大学動物実験委員会名簿」、「学外者による検証（外部評価）」については、埼玉大学のホームページにおいて情報公開をしている。</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>上記の情報公開がなされているため。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>特になし。</p>

8. その他

（動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果）

<p>特になし。</p>

動物実験に関する自己点検・評価報告書

国立大学法人埼玉大学

2024年6月

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

1) 評価結果 ■ 基本指針に適合する機関内規程を定めている。 □ 機関内規程を定めているが、一部に改善すべき点がある。 □ 機関内規程を定めていない。
2) 自己点検の対象とした資料 「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」、「動物飼育室の利用マニュアル」、「動物実験計画書における実験実施期間の取り扱いについて」、「埼玉大学における災害対応マニュアル(実験動物関連)」、「両生類及び魚類を使用する動物実験等に関する申合せ」、「発がん物質等危険物質を用いた動物実験に関する申合せ」
3) 評価結果の判断理由(改善すべき点があれば、明記する。) 環境省の「実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準」(以下「飼養保管基準」という。)、文部科学省の「研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針」(以下「基本指針」という。)等に則って、「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」(平成19年8月制定)が適正に定められているため。
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし。

2. 動物実験委員会

1) 評価結果 ■ 基本指針に適合する動物実験委員会を設置している。 □ 動物実験委員会を設置しているが、一部に改善すべき点がある。 □ 動物実験委員会を設置していない。
2) 自己点検の対象とした資料 「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」、「埼玉大学動物実験委員会名簿」
3) 評価結果の判断理由(改善すべき点があれば、明記する。) 飼養保管基準及び基本指針に適合した動物実験委員会が置かれているため。
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし。

3. 動物実験の実施体制

1) 評価結果 ■ 基本指針に適合し、動物実験の実施体制を定めている。 □ 動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。 □ 動物実験の実施体制を定めていない。
2) 自己点検の対象とした資料 「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」、「動物実験計画書」、「動物実験（変更・追加）承認申請書」、 「動物実験報告書」、「飼養保管施設設置承認申請書」、「実験室設置承認申請書」、 「施設等（飼養保管施設・動物実験室）廃止届」、「飼養保管数報告書」
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」に動物実験の実施体制等が定められているため。
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし。

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

1) 評価結果 ■ 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めている。 □ 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。 □ 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めていない。 □ 該当する動物実験を行っていないので、実施体制を定めていない。
2) 自己点検の対象とした資料 「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」、「国立大学法人埼玉大学遺伝子組換え実験実施規則」、 「国立大学法人埼玉大学放射線障害予防規則」、「発がん物質等危険物質を用いた動物実験に関する申合せ」「病原体等を用いた動物実験に関する申合せ」
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 遺伝子組換えを伴う動物実験では、動物実験計画書の承認と併せて、遺伝子組換え実験安全委員会の承認を必要としており、適正に実施されている。
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし。

5. 実験動物の飼養保管の体制

<p>1) 評価結果</p> <ul style="list-style-type: none">☒ 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。☐ 多くの改善すべき問題がある。
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>「飼養保管施設設置承認申請書」、「実験室設置承認申請書」、「動物飼育室の利用マニュアル」、「埼玉大学における災害対応マニュアル（実験動物関連）」、「動物の逸走・感染症等発生時連絡網」、「定期視察結果」</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>動物実験委員会では、「飼養保管施設設置承認申請書」によって申請された飼養保管施設について審査を行い承認する体制をとっている。また、定期的な視察により飼養保管施設の点検を行っている。飼養保管施設毎に「動物飼育室の利用マニュアル」を定め、利用者には教育訓練にて内容を説明し、マニュアルに基づき運用することを徹底している。また、「埼玉大学における災害対応マニュアル（実験動物関連）」では、緊急時における対応方法を定めている。動物の逸走や人獣共通感染症への感染などの事案が発生した場合の連絡体制も構築されている。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>特になし。</p>

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

<p>令和4年11月に受検した外部検証において指摘された改善事項について未対応・不十分であった点の対応に引き続き取り組む。</p>

II. 実施状況

1. 動物実験委員会の活動状況

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、適正に機能している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 (1) 動物実験委員会の開催日時及び審議内容の記録 (2) 「動物実験計画書」、「動物実験（変更・追加）承認申請書」、「動物実験報告書」、 「飼養保管施設設置承認申請書」、「実験室設置承認申請書」、「施設等（飼養保管施設・動物実験 室）廃止届」、「飼養保管状況報告書」の調査・審議内容の記録 (3) 動物実験教育訓練開催報告書
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 上記の審議等は「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」に即して行っている。議事録についても、適切に保管され、メール審議の際、各委員からのコメントを委員全員が閲覧し共有する体制も整っている。
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし。

2. 動物実験の実施状況

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、適正に動物実験を実施している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 (1) 「動物実験計画書」、「動物実験（変更・追加）承認申請書」、「動物実験報告書」 (2) 上記に対する動物実験委員会での審査内容の記録
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 各実験責任者から一年ごとに報告を徴収して委員会にて実施状況を確認しており、「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」に即して適正に実施されている。
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし。

3. 安全管理に注意を要する動物実験の実施状況

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、当該実験を適正に実施している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。 ☐ 該当する動物実験を行っていない。
2) 自己点検の対象とした資料 「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」、「国立大学法人埼玉大学遺伝子組換え実験実施規則」、「発がん物質等危険物質を用いた動物実験に関する申合せ」、「病原体等を用いた動物実験に関する申合せ」 「動物実験計画書」、「動物実験報告書」、「飼養保管施設設置承認申請書」、「実験室設置承認申請書」
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 遺伝子組換え実験安全委員会との連携のもと本学の規則に即して実験が実施されており、大きな問題となるケースは見受けられなかった。また、発がん物質等危険物質を用いた動物実験については今年度実施されず、病原体等を扱う動物実験については本学ではこれまでに実施されていない。
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし。

4. 実験動物の飼養保管状況

1) 評価結果 ☒ 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」、「動物実験計画書」、「動物飼育室の利用マニュアル」
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 基本指針や各種の飼養保管施設利用マニュアルに即して実施されており、また、微生物学的清浄度の把握のため、微生物モニタリングを実施した。また、各種の飼養保管施設利用マニュアルについては内容の補足を行った。
4) 改善の方針、達成予定時期 魚類関係の「各種飼養保管施設の利用マニュアル」について作成の有無等、検討する。

5. 施設等の維持管理の状況

1) 評価結果 ■ 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に維持管理している。 □ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 「動物飼育室の利用マニュアル」、「令和5年度動物飼養保管施設の定期視察結果について」、 「(第一種圧力容器) 検査証」
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。) 動物飼育室を管理する科学分析支援センターにて、機器設備の更新計画や運用等の具体について検討し、動物実験委員会にて飼養保管施設の適正な維持管理に向けた取り組みを進めている。担当教員(動物実験管理者、飼養者等)による各飼養保管施設の状況確認等を行っている。また、動物実験委員会による飼養保管施設の定期視察の結果、緊急に改善すべき点は見受けられず、適正に維持管理されている。
4) 改善の方針、達成予定時期 魚類関係飼養保管施設に関する定期視察等について検討する。

6. 教育訓練の実施状況

1) 評価結果 ■ 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 □ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」、「動物実験教育訓練開催報告書」、「動物実験室利用マニュアル」
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。) 教育訓練は、「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」に即して概ね適正に実施されているため。また、令和4年度の実施分からは人獣共通感染症の項目を加えて実施されている。なお、令和5年度はオンライン形式により実施、教育訓練を受けた者が当該年度(年度末に実施したものは次年度)の動物実験を行った。
4) 改善の方針、達成予定時期 教育訓練内容のより一層の充実化を図るため、今後も使用教材の見直し等を検討する。

7. 自己点検・評価、情報公開

<p>1) 評価結果</p> <p>☒ 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。</p> <p>☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p>☐ 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>(1) 自己点検・評価・・・本自己点検・評価報告書を含め平成 22 年度以降の自己点検・評価報告書について、埼玉大学のホームページにおいて情報公開済みである。</p> <p>(2) 関連事項の情報公開・・・「国立大学法人埼玉大学動物実験規則」、「各種様式」、「平成 21～令和 4 年度実績」、「埼玉大学動物実験委員会名簿」、「学外者による検証（外部評価）」について、埼玉大学のホームページにおいて情報公開をしている。</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>上記の情報公開がなされているため。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>特になし。</p>

8. その他

（動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果）

<p>特になし。</p>